

# 令和6年第9回定例教育委員会会議

日 時 令和6年9月30日（月）  
午後1時30分から  
場 所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

## 議 題

### 日程第一 議事事項

議案第29号 令和7年度当初教職員人事異動方針・細部事項について  
議案第30号 富士見市社会教育委員の委嘱について

### 日程第二 報告事項

- (1) 専決処理の報告について（教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること）
- (2) 富士見市立小・中学校体育館空調設備利用要綱の一部改正について
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果について（速報）
- (4) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について（速報）
- (5) 令和6年度第12期子ども大学☆ふじみ事業実施報告について
- (6) 令和6年度富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の報告について
- (7) 令和6年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について
- (8) 小学生ロボコン・富士見市大会について
- (9) その他
  - ・富士見市児童生徒社会科展について

議案第29号

令和7年度当初教職員人事異動方針・細部事項について  
令和7年度当初教職員人事異動に係り、富士見市教育委員会として別添のとおり実施するものである。

令和6年9月30日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

提案理由

令和7年度当初教職員人事異動を行うにあたり、本市の人事異動方針・細部事項を定めたいため、この案を提出します。

## 令和7年度当初富士見市教職員人事異動の方針

### 1 基本方針

- (1) 教育界の活性化を図り、気風を刷新して教育効果を高めるため、人材を抜擢し、適材を適時に適所に配置することを基本に異動を推進する。
- (2) 教育界の人材育成を期して、教職員の視野を広め職務経験を豊かにするための異動を推進する。
- (3) 教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、地域差・学校差を是正する。
- (4) 教育水準の向上を図るため、長期的展望に立って、計画的に異動を実施する。
- (5) 新採用教職員については、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して適切な配置に努める。
- (6) 役職定年後の教職員及び再任用職員については、豊かな経験を生かすとともに、調和のとれた学校運営に資するため、適切な配置に努める。
- (7) 教職員の個々の能力、適性等を考慮し、積極的な登用に努める。
- (8) 障害のある教職員については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮し、適切な配置に努める。

### 2 転任・転補

- (1) 魅力ある学校づくりを推進するため、教職員の特性、能力、勤務実績及び職務経験並びに各学校の教職員構成及び地域社会との関係を考慮して、適材を適時に適所に配置する。
- (2) 人事異動にあたっては、教職員組織の充実を図るため、学校間の教職員の性別、年齢、教科等の構成の均衡に配慮する。
- (3) 教職員の視野を広め職務経験を豊かにするとともに、学校の活力を高めるため、新規採用後早期に複数校を経験するよう、積極的に異動を行う。
- (4) 学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校勤続年数の長い者については、積極的に異動を行う。
- (5) 配当定員に対して欠員を生ずる場合は、西部教育事務所、他市町村教育委員会の協力を得て、その補充に努める。
- (6) 配当定員に対して過員を生ずる場合は、その調整のための異動を優先するなど、児童、生徒の減少に伴う人事を重点的に行う。

(7) 校長、教頭及び主幹教諭については、学校の活性化を図るため、勤務の実績及び能力等を考慮し、広域的な異動を行う。

### 3 期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

## 令和7年度当初富士見市立学校教職員人事異動方針細部事項

令和7年度当初富士見市立学校教職員人事異動は、「令和7年度当初富士見市教職員人事異動の方針」に基づき、次に掲げる各項目に従い実施する。

### 1 基本方針関係

#### (1) 新採用教職員

新採用教職員の配置については、採用候補者名簿に登載された者の中から、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して行う。

#### (2) 再任用職員

再任用職員については、従前の勤務実績等に基づく選考により再任用する。

なお、再任用に当たっては、当分の間、退職時における勤務校を所管する教育委員会の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難しい場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

#### (3) 役職定年後の教職員

役職定年後の教職員は、当分の間、役職定年時における勤務校を所管する市町村教育委員の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難しい場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

### 2 転任・転補関係

(1) 転任・転補については、教職員の意向を把握し、人事異動方針及び細部事項に基づいて行う。

(2) 教職員の視野を広げ、職務経験を豊かにするため、市町村間の異動を積極的に行うとともに、校種間の人事交流に努める。

(3) 次の教員（教頭及び主幹教諭を除く。）、事務職員、学校栄養職員については、原則として異動を行わない。

ア 同一校在職3年未満の者

イ 産休・育休等を取得中及び妊娠中の者

ウ 休職中の者

(4) 経験豊かな教職員（教頭及び主幹教諭を除く。）の異動については、各学校の教職員構成及び学校運営の適正化を図るため、計画的に推進する。

特に、教頭候補者名簿登載者の異動を積極的に行う。

(5) 事務職員については、職務経験等を考慮した計画的、積極的な異動を行う。

特に、事務主幹については、同一校に複数配置をすることのないよう異動を行う。

(6) 学校栄養職員については、職務経験等を考慮し、計画的、積極的な異動を行う。

(7) 新採用の教員、事務職員及び学校栄養職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後6年以内に異動を行う。その際、原則として他市町村間の異動を行う。

(8) 学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、教員、事務職員及び学校栄養職員は、同一校在職10年以内に異動を行う。

特に、7年以上の者については、積極的に異動を行う。

(9) 欠員を補充するための異動については、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

(10) 過員を調整するための異動については、優先して行う。

特に、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

また、小・中・特別支援学校間の異動については、資格及び特性等を考慮して積極的に行う。

(11) 管理職の異動については、学校の効率的運営と適正な管理が行われるよう、年齢・経験年数・特性等を考慮して行う。

また、原則として、校長・教頭の同時異動は行わない。

(12) 地域差・学校差の是正を図るため、校種及び学校規模等を配慮し、市町村間、教育事務所間の異動を行う。

(13) 魅力ある学校づくりを推進するために、市町村間の異動に努める。

(14) 小中学校9年間を一貫した教育及び特別支援教育の推進を図るために、小・中・特別支援学校間の異動に努める。

(15) 教職員の異動については、個々の能力が十分に発揮できるよう配慮する。

(16) 障害のある教職員の異動については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮して行う。

(17) 教職員の心身の状況に応じて、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

(18) 子育てや介護など、教職員の家庭状況に応じ、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

### 3 期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、別紙「令和7年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領」に基づき、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

### 4 その他

#### (1) 長期的展望に立った人事異動計画の立案と実施について

教育委員会及び校長は、各学校の教職員構成の適正化に配慮し、長期的展望に立った人事異動計画を立案する。

#### (2) 退職

ア 定年退職については、職員の定年等に関する条例の定めるところによるものとする。

イ 勸奨退職については、学校職員勸奨退職取扱要綱に定めるところによるものとする。

なお、学校職員勸奨退職取扱要綱第2の「教育長が定める期日」は、令和6年12月8日とする。

#### (3) 降任

ア 管理職の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に基づき行う。

イ 主幹教諭の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に準じて行う。

## 令和7年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領

### 1 趣旨

この要領は、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の人事交流を通して、教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実に資することを目的として、期限付人事交流に必要な事項を定めるものである。

### 2 交流の方法

富士見市教育委員会(以下、「教育委員会」という)は、富士見市立小・中学校(以下、「小・中学校」という)、富士見市立富士見特別支援学校(以下、「富士見特別支援学校」という)との連携、協力を図り、校長から推薦された者の中から、期限付人事交流の対象者を決定する。

### 3 交流の期間

期間は、原則として3年とする。

### 4 交流対象者

交流に基づく配属先となる学校に必要な小学校又は中学校の教諭の普通免許状を所有し、異校種での勤務を希望する意欲のある教員のうち、校長の推薦に基づき、教育委員会が適当と認めた者。

### 5 実施手続き

#### (1) 手続き

##### ア 小・中学校の場合

小・中学校長は、「富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書」(様式1-1小学校、様式1-2中学校)に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

##### イ 富士見特別支援学校の場合

富士見特別支援学校長は、「富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書」(様式2)に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

#### (2) 提出期限

令和7年度当初人事関係書類提出日

様式 1 - 1 (小学校)

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和 年 月 日

(宛先) 富士見市教育委員会教育長

富士見市立 小学校  
校 長

令和 7 年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流  
について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏 名	年齢	勤務校 年 数	所 見 (主な校務分掌・研修歴等)	備考

様式1-2 (中学校)

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和 年 月 日

(宛先) 富士見市教育委員会教育長

富士見市立 中学校  
校 長

令和7年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏名	年齢	教科	勤務校 年数	所見 (主な校務分掌・研修歴等)	備考

様式2

富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書

令和 年 月 日

(宛先) 富士見市教育委員会教育長

富士見市立富士見特別支援学校

校 長

令和7年度当初人事における、富士見市立小・中学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏 名	年齢	学部	勤務校 年 数	所 見 (主な校務分掌・研修歴等)	異動希望 校 種	備考

議案第30号

富士見市社会教育委員の委嘱について  
富士見市社会教育委員を別紙のとおり委嘱する。

令和6年9月30日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

提案理由

富士見市社会教育委員に欠員が生じたため、新たに委員を委嘱したく、富士見市社会教育委員設置条例第2条の規定により、この案を提出します。

別紙

富士見市社会教育委員候補者名簿

(任期：令和6年10月1日～令和7年5月31日まで)

No.	氏名	所属等
1	國府田 祐子	淑徳大学教授

# 報告事項（1）資料

## 専決処理の報告について

富士見市教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和50年教委規則第3号）第2条第2項の規定により、下記事項について別紙のとおり専決処理したので、同条第3項の規定により報告する。

### 記

教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

#### 1 教育委員会職員の人事発令について

令和6年9月30日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

専 決 処 理 書

次のとおり教育委員会職員に対し、退職辞令を発令することについて、富士見市教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和50年教委規則第3号）第2条第2項の規定により専決処理する。

1 内容

令和6年8月31日付 退職する者

氏 名	所属・職名	退職事由
南部 英司	水谷公民館主任	普通

2 専決処理の理由

退職辞令の発令について、緊急に処理しなければならず、かつ委員会を招集するいとまがなかったため。

令和6年8月26日

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

# 報告事項（2）資料

富士見市立小・中学校体育館空調設備利用要綱（令和6年教育委員会告示第6号）新旧対照表

新		旧	
別表（第2条関係）		別表（第2条関係）	
設置箇所	位置	設置箇所	位置
鶴瀬小学校	富士見市羽沢2丁目1番1号	鶴瀬小学校	富士見市羽沢2丁目1番1号
水谷小学校	富士見市水谷1丁目13番地3	水谷小学校	富士見市水谷1丁目13番地3
南畑小学校	富士見市大字上南畑1280番地	南畑小学校	富士見市大字上南畑1280番地
関沢小学校	富士見市関沢3丁目24番1号	勝瀬小学校	富士見市大字勝瀬674番地
勝瀬小学校	富士見市大字勝瀬674番地	水谷東小学校	富士見市大字水子3614番地
水谷東小学校	富士見市大字水子3614番地	みずほ台小学校	富士見市東みずほ台3丁目21番地
諏訪小学校	富士見市大字鶴馬1932番地の1	ふじみ野小学校	富士見市ふじみ野東4丁目4番地1
みずほ台小学校	富士見市東みずほ台3丁目21番地	富士見台中学校	富士見市諏訪2丁目8番1号
針ヶ谷小学校	富士見市針ヶ谷2丁目38番地1	本郷中学校	富士見市大字水子539番地
ふじみ野小学校	富士見市ふじみ野東4丁目4番地1	東中学校	富士見市大字上南畑980番地
つるせ台小学校	富士見市鶴瀬西2丁目9番1号	西中学校	富士見市西みずほ台3丁目14番地6
富士見台中学校	富士見市諏訪2丁目8番1号		
本郷中学校	富士見市大字水子539番地		
東中学校	富士見市大字上南畑980番地		
西中学校	富士見市西みずほ台3丁目14番地6		
<p>附 則 この告示は、令和6年10月1日から施行する。</p>			

令和6年度  
全国学力・学習状況調査について  
（速報値）



富士見市教育委員会

# 全国学力・学習状況調査の結果について（速報）

《令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から（小6・中3）》

## 小学校6学年：学力問題の傾向【資料1】【資料2】

### 1 成果

- (1) 国語は「話すこと・聞くこと」の領域において、昨年度より全国との差を縮め、おおむね同等の平均正答率であった。
- (2) 算数は「変化と関係」の領域において、昨年度より全国との差を縮め、おおむね同等の平均正答率であった。

### 2 課題

- (1) 国語・算数ともに全体の平均正答率は、全国を下回っている。
- (2) 国語・算数ともに無回答率が全国よりも高い。特に記述式の問題に対しての無回答率が高いことから、問題文を読み、想像したことや考えたことを自分の言葉でまとめる問題に困難さを感じている傾向がある。

### 【考察】（学力問題の傾向から）

無回答率が全国より高い傾向から、ねばり強く最後まで問題を解こうとする姿勢を身に付けていく必要性が考えられる。授業の中で、自己の考えの表出場面を増やす、最後まで問題を解こうとする態度を大切にす、答えに至るプロセスを言語化していく活動の充実を図るなどの授業改善が求められる。

（参考資料）P. 7、8 資料2 問題別調査結果〔国語〕〔算数〕

P. 11 資料4 令和6年度全国学力・学習状況調査（小学校児童質問紙より抜粋）算1「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の回答率

## 小学校6学年：質問紙の傾向【資料4】【資料6】

### 1 成果【90%以上又は80%以上で全国値より本市が高いもしくは近似値のもの】

- (1) 規則正しい生活習慣が築けている児童が多い。
  - 「朝食を毎日食べていますか」（本市95.3%、全国93.7%）
  - 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」（本市91.2%、全国91.6%）
- (2) 「困っている人を助けたい」「いじめはいけない」と感じている児童が多い。
  - 「人が困っているときは、進んで助けていますか」（本市90.0%、全国92.7%）
  - 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（本市95.0%、全国96.7%）
  - 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」（本市94.0%、全国95.9%）
- (3) 勉強の大切さを理解している児童が多い
  - 「国語の勉強は大切だと思いますか」（本市92.9%、全国94.5%）

→「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」  
(本市 92.2%、全国 93.2%)

→「算数の勉強は大切だと思いますか。」(本市 93.4%、全国 94.6%)

→「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」  
(本市 93.7%、全国 94.1%)

(4) 課題解決への筋道を立てて、友達と協力しながら授業や学校生活を過ごす児童が多い。

→「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」 (本市 90.2%、全国 91.6%)

→「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」  
(本市 85.8%、全国 81.3%)

## 2 課題【全国値より4ポイント以上低いもの】

(1) 先生がよいところを認めてくれると感じている児童が多い。しかし、その一方で、大人に相談できない様子が見られる。

→「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」 (本市 58.5%、全国 67.1%)

(参考)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」  
(本市 89.9%、全国 89.9%)

(2) 学習内容と社会生活との関連が弱い。

→「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」  
(本市 73.3%、全国 77.9%)

(3) 地域や社会への関心がやや薄い。

→「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」  
(本市 79.3%、全国 83.5%)

### 【考察】(質問紙調査の傾向から)

基本的な生活習慣や人間関係については、全国値とおおむね同等である。学習することが大切であると捉えていることや課題解決に向けて自分から取り組む姿勢が高まっている一方で、学力問題の平均正答率への反映が十分にみられず、学習内容の定着に結びついていないことが課題であると考え。授業の中で、児童の学びを適切に評価し、質の高い学習を展開できるような支援が必要であると考え。

(参考資料) P. 11 資料4 令和6年度全国学力・学習状況調査(小学校児童質問紙より抜粋) 30「5年生までに受けた～課題の解決に向けて、自分から取り組む」

P. 14～16 資料6 回答結果集計〔児童質問〕「国語(算数)の勉強は大切だと思いますか。」等

## 中学校 3 学年：学力問題の傾向【資料 1】【資料 3】

### 1 成果

#### 【国語】

- (1) 全国の平均正答率より 0.9 ポイント高く、県とは、同等である。
- (2) 「読むこと」に関する問題は平均正答率が全国より 2.5 ポイント高い。
- (3) 「選択式」、「記述式」の問題が、全国より 1.3、1.4 ポイント平均正答率が高い。
- (4) 無回答率が、15 問中 14 問、全国より低い。

#### 【数学】

- (1) 全国の平均正答率より 0.5 ポイント高く、県の平均正答率とは、同等である。
- (2) 「データの活用」の問題は平均正答率が全国より 3.2 ポイント高い。
- (3) 「選択式」の問題が、全国より 1.3 ポイント平均正答率が高い。

### 2 課題

#### 【国語】

- (1) 「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」が全国より 3.1 ポイント平均正答率が低い。

#### 【数学】

- (1) 「数と式」の問題が、県・全国より平均正答率が低い。

#### 【考察】(学力問題の傾向から)

国語・数学において、全国の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が図られている。無回答率も全国と比べて、低い傾向にあり、最後まで問題を解こうという姿勢が感じ取れる。分類別の数値においても、おおむね全国より高い傾向にある。一方で県と比較すると、特に数学において、各領域が若干下回っている傾向にあるので県を目標にさらなる学力向上策を練るよう各学校に促していきたい。

(参考資料) P. 9、10 資料 3 問題別調査結果〔国語〕〔数学〕

P. 12 資料 5 令和 6 年度全国学力・学習状況調査(中学校生徒質問紙より抜粋) 数 1 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」

## 中学校 3 学年：質問紙の傾向【資料 5】【資料 7】

### 1 成果【90%以上又は 80%以上で全国値より本市が高いもしくは近似値のもの】

(1) 規則正しい生活習慣が築けている児童が多い。

→ 「朝食を毎日食べていますか」(本市 91.3%、全国 91.2%)

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」(本市 91.3%、全国 92.5%)

(2) 教師と生徒がよりよい信頼関係を築けている。

→ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

(本市 93.5%、全国 90.4%)

→「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」 (本市 86.1%、全国 84.9%)

(3) 友人関係が良好であり、それが学校生活に生きている。

→「友達関係に満足していますか」 (本市 90.4%、全国 90.1%)

→「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」 (本市 92.4%、全国 92.3%)

→「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

(本市 88.9%、全国 86.3%)

(4) 国語の学習の大切さを理解している児童が多い

→「国語の勉強は大切だと思いますか」 (本市 93.6%、全国 93.9%)

(5) 道徳の授業で、考え、話し合おうとする意識が高い。

→「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」 (本市 94.4%、全国 91.7%)

## 2 課題【全国値より2ポイント以上低いもの】

(1) 毎日、同じくらいの時刻に寝る生徒の割合が少ない。

→「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」 (本市 78%、全国 80.7%)

(2) 学習内容と社会生活との関連が弱い。

→「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」 (本市 55.1%、全国 57.2%)

(3) タブレットなどのICT機器の活用率が全国に比べ低い。

→「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」 (本市 52.4%、全国 64.4%)

### 【考察】(質問紙調査の傾向から)

教師や友人との信頼関係は、全国より高い傾向にある。課題に対し自分で考え、進んで取り組む姿勢や互いの意見のよさを生かして課題解決する姿勢も全国を上回っており、学習意欲が学ぶ姿勢に現れているといえる。クロス集計をみるとICTの活用頻度と学力との関連は明確にあるといえないが、ICT機器の活用率が全国と比べ10p以上低いことは、ICT活用技能の観点から改善が望まれる。

(参考資料) P.12 資料5 令和6年度全国学力・学習状況調査(中学校生徒質問紙より抜粋) 30 「1、2年生のとき～課題の解決に向けて自分から取り組む」  
P.18～21 資料7 回答結果集計〔生徒質問〕「国語(算数)の勉強は大切だと思いますか。」等

## クロス集計：質問紙と学力との相関がみられる項目【資料8】

- (1) テレビゲームの時間が長い児童生徒は、平均正答率が低い。  
→「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」
- (2) 学び方を自分で工夫している児童生徒は、平均正答率が高い。  
→「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」
- (3) 課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいた児童生徒は、平均正答率が高い。  
→「5年生（中学1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
- (4) 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めている児童生徒は、平均正答率が高い。  
→「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」
- (5) 問題に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童生徒は、平均正答率が高い。  
→「今回の算数（数学）では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」

### 【考察】（クロス集計の傾向から）

テレビゲームやスマートフォンに費やす時間が長いことで、学習時間が短くなり、学力に影響をおよぼしていることがこの数値からわかる。本市は、小学校で全国、県とくらべても長時間テレビゲームやスマートフォンに費やす時間が長い傾向があるので注視していく必要がある。

主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れて学習を進めている児童生徒は、学力が高い傾向にあり、これに加えて、問題解決を図る際に、粘り強く問題を解こうとする姿勢がある児童生徒も学力が高い。この点を踏まえ、教師が支援者として、授業改善を図っていくことが大切であると考えられる。

（参考資料）P. 22～26 資料8 質問紙と学力とのクロス集計結果

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

資料1

平均正答率(%)

### 【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.7	69	65	-2.7
算数	63.4	64	61	-2.4

### 【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	58.1	59	59	0.9
数学	52.5	53	53	0.5

…全国平均を上回っているもの

平均正答率(%)

### 【参考】令和5年度

#### 【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.2	68	65	-2.2
算数	62.5	62	60	-2.5

#### 【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	69.8	71	71	1.2
数学	51.0	52	55	4.0
英語	45.6	46	47	1.4

### 【参考】令和4年度

#### 【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	65.6	67	65	-0.6
算数	63.2	64	62	-1.2
理科	63.3	65	62	-1.3

#### 【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	69	70	69	0
数学	51.4	52	51	-0.4
理科	49.3	49	47	-2.3

※ 令和5年度は国語、算数・数学に加え、英語が実施された。

※ 令和4年度は国語、算数・数学に加え、理科が実施された。

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

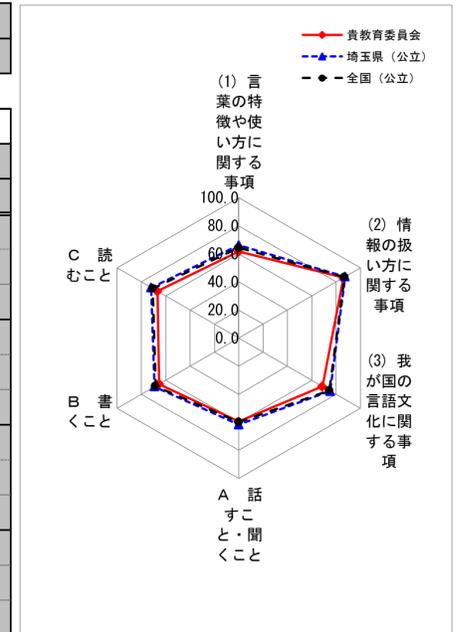
集計結果

対象児童数			富士見市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
			956	56,182	947,364

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
全体			65	69	67.7	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	4	61.7	66.2	64.4
		(2) 情報の扱いに関する事項	1	86.1	87.5	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	68.7	75.3	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	59.4	61.6	59.8
		B 書くこと	2	65.4	69.2	68.4
		C 読むこと	3	66.8	72.0	70.7
評価の観点	知識・技能	6	67.0	71.3	69.8	
	思考・判断・表現	8	63.7	67.4	66.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	10	68.6	71.2	69.9	
	短答式	2	54.9	61.9	59.7	
	記述式	2	57.7	65.5	64.6	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)						
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	(2) 情報の扱いに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項												
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6 ア	○	○	○	59.4	64.1	62.5	1.8	0.9	0.7		
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5・6 イ				○	○	○	75.5	77.3	75.9	1.4	0.8	0.6		
1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6 ウ	○	○	○	52.6	54.6	52.9	1.8	0.9	0.7		
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6 ア	○	○	○	66.3	66.1	63.8	1.9	1.1	0.9		
2一 (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				5・6 ア	○	○	○	80.6	81.8	80.3	2.1	1.0	0.9		
2一 (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6 イ				○	○	○	86.1	87.5	86.9	2.0	1.1	0.9		
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6 ウ	○	○	○	50.1	56.6	56.6	7.2	4.2	4.9		
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す (きょうぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ				○	○	○	40.5	46.7	43.4	14.7	11.0	13.2		
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す (なげる)		5・6 エ				○	○	○	69.2	77.1	76.0	10.8	6.8	8.0		
3一	【物語】の一文の中の「かやがいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	3・4 カ				○	○	○	61.7	63.9	62.3	3.7	2.3	2.0		
3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけているかと思われるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				5・6 イ	○	○	○	65.0	68.0	66.9	4.7	2.9	2.6		
3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に注目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる				5・6 エ	○	○	○	70.2	73.3	72.5	5.5	3.2	2.9		
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる				5・6 エ	○	○	○	65.3	74.5	72.6	18.4	11.4	12.6		
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる				5・6 オ	○	○	○	68.7	75.3	74.6	14.6	8.5	7.6		

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

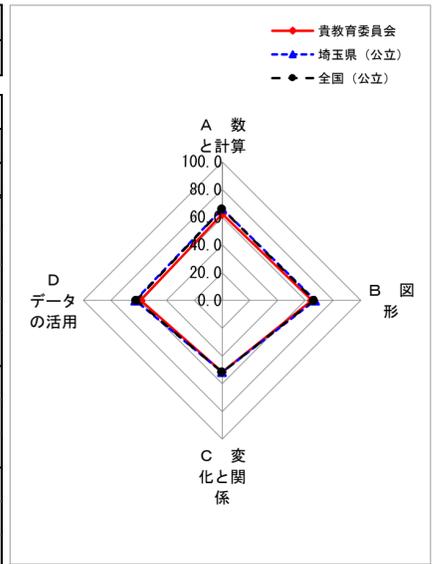
集計結果

対象児童数		富士見市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
		956	56,184	947,579

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体			61	64	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	62.4	66.2	66.0
	B 図形	4	64.8	67.1	66.3
	C 測定	0			
	C 変化と関係	3	51.6	51.7	51.7
	D データの活用	4	58.7	62.6	61.8
評価の観点	知識・技能	9	70.9	73.0	72.8
	思考・判断・表現	7	48.6	51.9	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	74.3	76.0	75.3
	短答式	7	59.8	62.2	62.0
	記述式	4	47.0	51.3	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



(注) 「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用				選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
1 (1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2 (2) ア(エ)												60.4	61.8	62.1	0.3	0.2	0.2
1 (2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	3 (7) ア(ア)												89.3	89.5	88.5	0.3	0.3	0.3
2 (1)	350×2=700であることを基に、350×16の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3 (3) イ(ア)												49.5	58.0	56.9	5.1	2.8	3.4
2 (2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5 (3) ア(ア)												65.5	68.9	69.1	2.2	1.2	1.3
3 (1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	4 (2) ア(ア) ア(ウ)												84.4	86.7	85.5	1.0	0.6	0.6
3 (2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	5 (1) ア(エ)												72.0	73.1	71.3	1.4	0.8	0.8
3 (3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さや立方体の一方の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	3 (1) ア(ウ) イ(ア) イ(イ) ア(イ) イ(ア)												34.8	36.3	36.5	13.6	9.1	9.8
3 (4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	5 (2) ア(ア) イ(ア)												68.0	72.5	72.0	2.0	1.5	1.8
4 (1)	540÷0.6を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5 (3) ア(イ)												64.4	68.1	70.1	5.1	2.8	3.1
4 (2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる				5 (1) ア(ア) イ(ア)									71.8	71.4	70.0	4.9	2.8	3.3
4 (3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				5 (2) ア(ア) イ(ア)									28.7	29.9	31.0	4.1	2.2	2.4
4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる				5 (2) ア(ア)									54.3	53.7	54.1	6.3	4.0	4.6
5 (1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる				5 (1) ア(ア)									76.5	80.2	80.8	2.8	1.7	1.8
5 (2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる				3 (1) ア(ア)									70.9	74.8	73.3	5.5	3.5	3.9
5 (3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3 (1) イ(ア) イ(イ) ア(イ)									41.8	44.7	44.0	14.4	11.0	12.6
5 (4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる	2 (1) イ(ア)			3 (1) ア(ア)									45.6	50.8	49.3	6.4	3.8	4.0

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

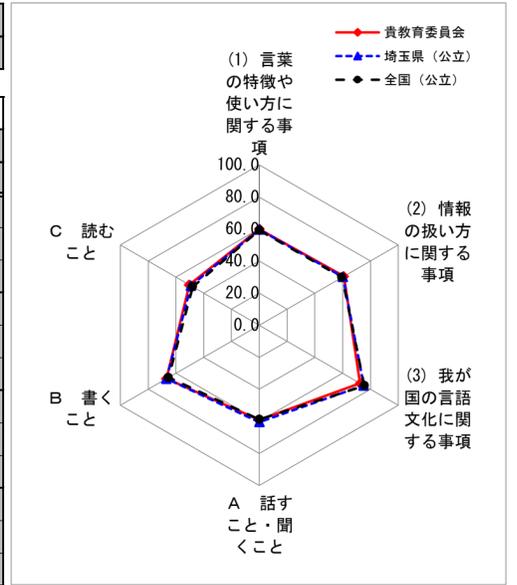
集計結果

対象生徒数		富士見市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
		790	52,941	875,574

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体			59	59	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	59.9	59.7	59.2
		(2) 情報の扱いに関する事項	60.8	60.2	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	72.5	75.2	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	59.1	60.5	58.8
		B 書くこと	66.8	66.8	65.3
		C 読むこと	50.4	49.2	47.9
評価の観点	知識・技能	62.3	62.5	62.0	
	思考・判断・表現	56.9	56.9	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	62.3	61.7	61.0	
	短答式	61.6	62.7	61.8	
	記述式	46.9	47.7	45.5	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

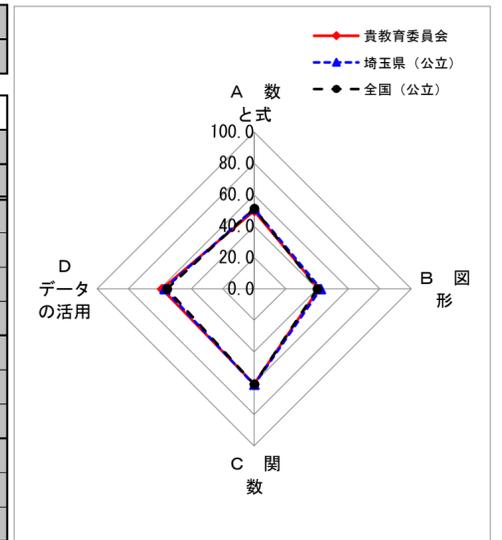
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
			(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	(2) 情報の扱いに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと													
1一	話合いの中の発言について説明したものと適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1エ			○	○						64.1	64.2	63.2	0.1	0.2	0.4
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝えるように話すことができるかどうかをみる				2ウ			○							69.5	70.0	68.5	2.8	3.5	3.5
1三	話合いの中の発言について説明したものと適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	1ア						○							44.1	44.0	44.0	0.4	0.3	0.5
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1オ			○							43.7	47.3	44.7	8.5	8.3	9.9
2一	本文中の図の役割を説明したものと適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる							○							40.6	37.8	36.3	0.3	0.3	0.5
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものと適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	2ア						○							77.5	76.4	75.2	0.1	0.4	0.6
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる							○							67.3	66.0	64.5	0.3	0.4	0.6
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる							○							45.4	44.4	42.6	5.4	7.4	8.4
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものと適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				1ア			○							81.9	82.2	81.4	0.3	0.4	0.7
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものと適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる	2オ						○							59.1	55.4	53.8	0.5	0.8	1.0
3三	漢字を書く (みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ						○							67.1	69.7	68.8	11.0	9.9	10.2
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考慮して描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる							○							51.6	51.4	49.3	12.0	13.1	15.0
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものと適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる	1オ						○							53.4	54.2	54.9	1.0	1.5	1.8
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる							○							48.4	48.6	48.3	2.5	2.9	3.4
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものと適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる				1エ(イ)			○							72.5	75.2	75.6	2.3	1.9	2.3

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		富士見市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
		789	52,942	875,952	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	53	53	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	49.7	51.1	51.1
	B 図形	3	41.1	42.4	40.3
	C 関数	4	60.6	61.1	60.7
	D データの活用	4	58.7	57.1	55.5
評価の観点	知識・技能	11	63.5	64.0	63.1
	思考・判断・表現	5	29.9	30.4	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	59.8	58.7	58.5
	短答式	6	66.7	68.3	67.0
	記述式	5	29.9	30.4	29.3

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	2 (1) ア(イ)				○	○	28.3	34.6	34.8	16.7	14.8	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	2 (1) ア(エ)				○	○	52.2	52.9	52.5	8.1	9.3	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	回転移動について理解しているかどうかをみる		1 (1) ア(イ)			○	○	68.1	69.5	68.3	0.3	0.2	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる			2 (1) ア(ア)		○	○	64.9	65.0	65.3	1.0	0.7	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる				2 (2) ア(イ)	○	○	75.0	74.6	73.1	4.1	3.8	4.2
6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	1 (1) ア(イ)				○	○	91.4	91.1	90.2	1.8	2.1	2.5
6 (2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ(イ)				○	○	35.0	35.0	35.9	22.9	22.5	23.5
6 (3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ(イ)				○	○	41.6	41.9	41.8	30.9	29.1	29.6
7 (1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる			小6 (1) ア(ア)		○	○	77.8	79.3	74.3	6.3	5.1	5.8
7 (2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2 (1) イ(ア)	○	○	27.0	27.4	25.9	26.9	28.3	29.4
7 (3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる				2 (1) ア(ア)	○	○	54.8	47.0	48.5	0.5	0.8	0.9
8 (1)	ストップの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2 (1) ア(ア)	○	○	83.7	84.8	83.4	0.4	0.7	0.8
8 (2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストップの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2 (1) イ(イ)	○	○	18.4	17.2	17.1	14.8	16.0	16.4
8 (3)	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストップの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2 (1) ア(ア)	○	○	75.3	77.3	76.9	2.9	3.5	3.8
9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる				2 (2) イ(イ)	○	○	27.8	30.3	25.8	35.0	29.5	33.6
9 (2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる				2 (2) ア(イ) イ(ア)	○	○	27.5	27.4	26.7	4.6	5.5	4.5

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査(小学校 児童質問紙より抜粋)

資料4

※下線は、全国値との差を表します。

※色付きセルは全国値より高いことを表します。

※斜字体は全国値より10%以上低いことを表します。

(単位:%)

二

質問番号	質問項目	R6	R5	R4	R3
9	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	40.5 <u>-2.9</u>	38.8 <u>-3.8</u>	38.2 <u>-1.2</u>	37.1 <u>0.9</u>
11	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	59.9 <u>-0.7</u>	61.2 <u>0.4</u>	56.8 <u>-3.6</u>	60.4 <u>0.2</u>
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	73.7 <u>-5.8</u>	77.7 <u>-4.9</u>	80.3 <u>-3.3</u>	79.7 <u>-4.4</u>
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	53.0 <u>4.2</u>	52.8 <u>2.9</u>	40.2 <u>-6.1</u>	
27	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	15.7 <u>-9.6</u>	18.7 <u>-9.5</u>	15.9 <u>-10.8</u>	3.1 <u>-8.1</u>
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	29.6 <u>0.1</u>	31.9 <u>1.4</u>	29.7 <u>-0.8</u>	31.0 <u>0.7</u>
50	算数の勉強は好きですか。【当てはまる】	30.8 <u>-3.2</u>	28.9 <u>-5.9</u>	32.8 <u>-3.4</u>	38.6 <u>-3.1</u>
51	算数の勉強は大切だと思いますか。【当てはまる】	73.2 <u>-1.1</u>	73.5 <u>-1.8</u>	73.8 <u>-2.8</u>	73.4 <u>-5</u>
52	算数の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	39.4 <u>-5.3</u>	37.6 <u>-7.6</u>	39.7 <u>-5.9</u>	46.0 <u>-5.9</u>
53	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	73.0 <u>1.3</u>	71.2 <u>-1.8</u>	71.2 <u>-3.5</u>	69.7 <u>-3.1</u>
算1	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	72.2 <u>-6.5</u>	75.3 <u>-5.0</u>	83.3 <u>0.5</u>	80.3 <u>0.4</u>

令和6年度 全国学力・学習状況調査(中学校 生徒質問紙より抜粋)

資料5

※下線は、全国値との差を表します。

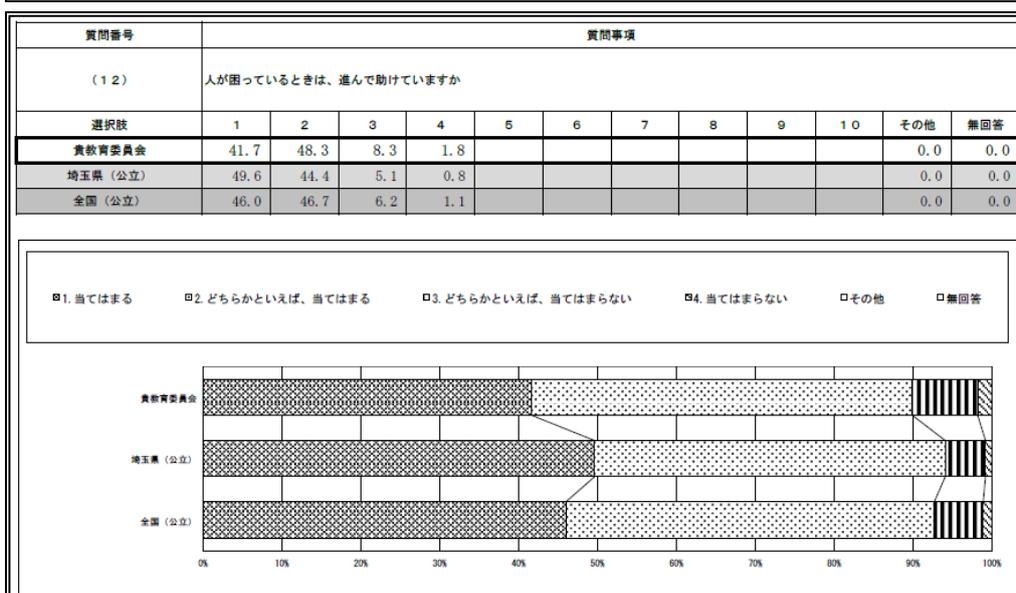
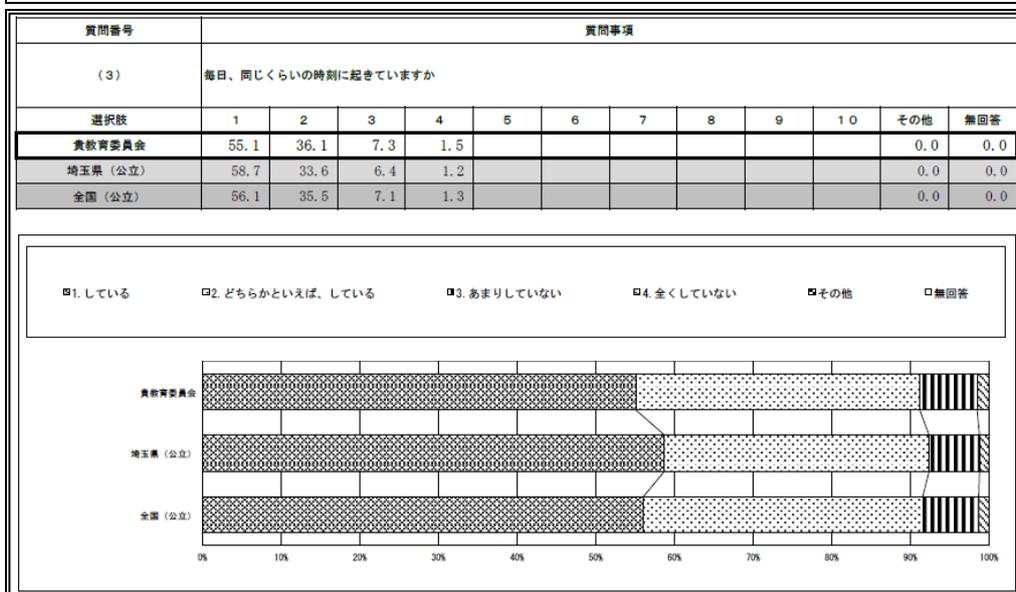
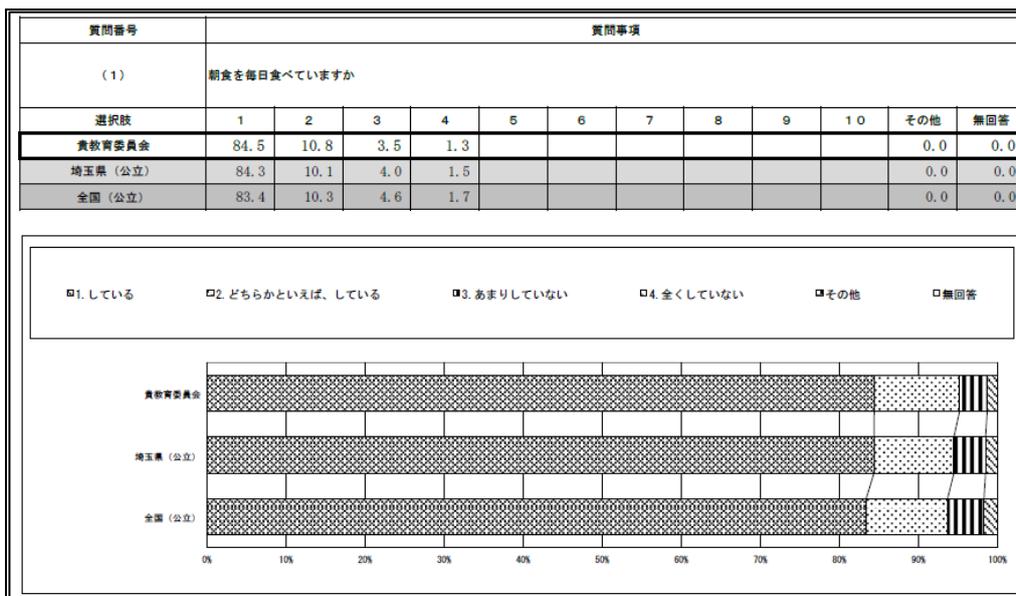
※色付きセルは全国値より高いことを表します。

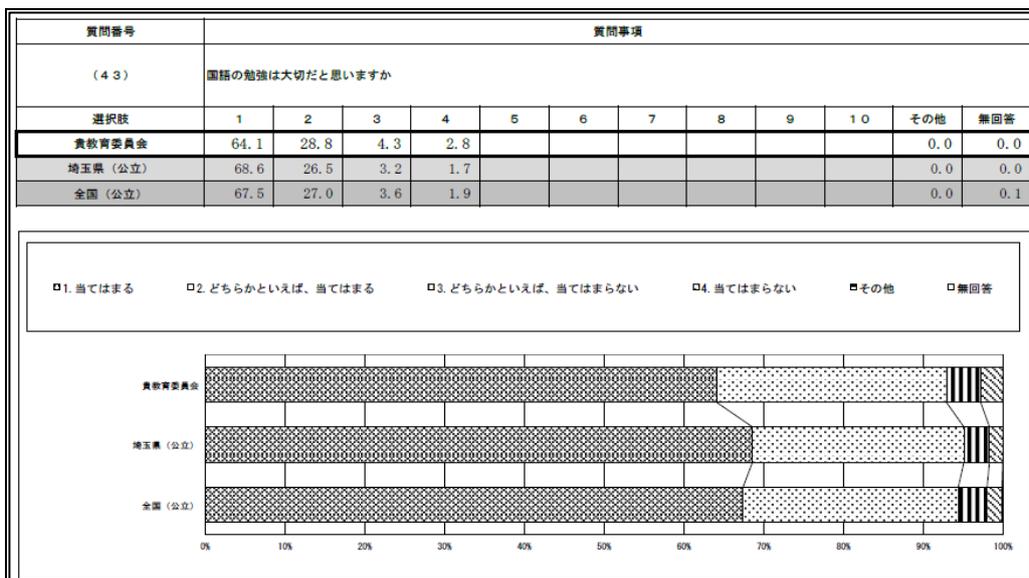
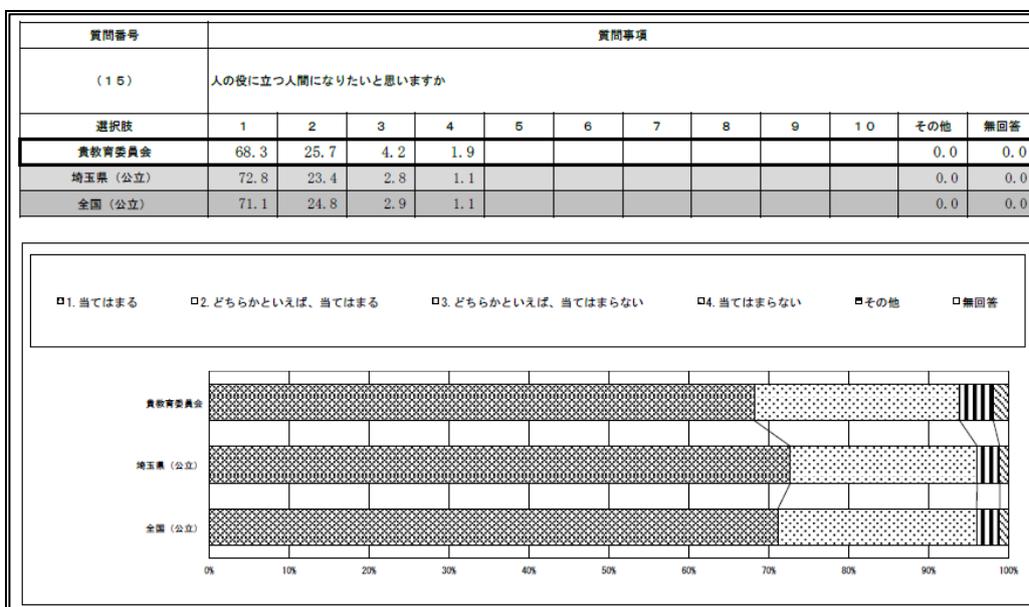
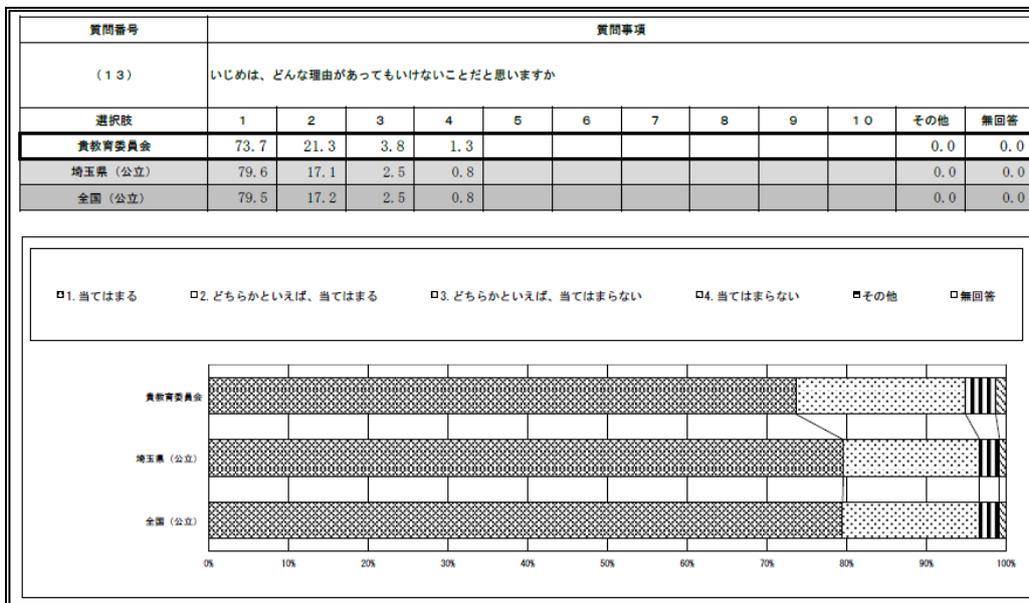
※斜字体は全国値より10%以上低いことを表します。

(単位: %)

質問 番号	質問項目	R6	R5	R4	R3
9	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	38.3 <u>-2.1</u>	36.2 <u>-1.0</u>	39.9 <u>3.9</u>	33.3 <u>-1.2</u>
11	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	34.8 <u>-1.3</u>	38.2 <u>-1.2</u>	39.2 <u>-0.6</u>	40.2 <u>-0.3</u>
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	72.0 <u>-5.5</u>	76.1 <u>-4.2</u>	81.1 <u>-1.5</u>	73.5 <u>-7.9</u>
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	53.0 <u>8.8</u>	41.7 <u>1.7</u>	41.6 <u>6.7</u>	
27	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	19.0 <u>-12.0</u>	11.6 <u>-16.5</u>	3.1 <u>-17.5</u>	3.2 <u>-4.2</u>
30	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	31.7 <u>4.5</u>	27.2 <u>-3.2</u>	34.9 <u>3.7</u>	36.0 <u>2.5</u>
50	数学の勉強は好きですか。【当てはまる】	29.8 <u>0.4</u>	32.1 <u>3.0</u>	29.2 <u>-0.7</u>	30.2 <u>-1.0</u>
51	数学の勉強は大切だと思いますか。【当てはまる】	50.2 <u>-2.6</u>	49.2 <u>-0.6</u>	50.2 <u>-1.9</u>	43.6 <u>-5.7</u>
52	数学の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	32.5 <u>-2.6</u>	33.8 <u>-0.1</u>	37.3 <u>1.2</u>	31.3 <u>-4.3</u>
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	38.6 <u>-1.4</u>	35.6 <u>-3.2</u>	34.3 <u>-6.4</u>	32.2 <u>-5.6</u>
数1	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。どのように回答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	51.1 <u>1.1</u>	60.3 <u>3.2</u>	51.1 <u>-1.9</u>	54.4 <u>-3.2</u>

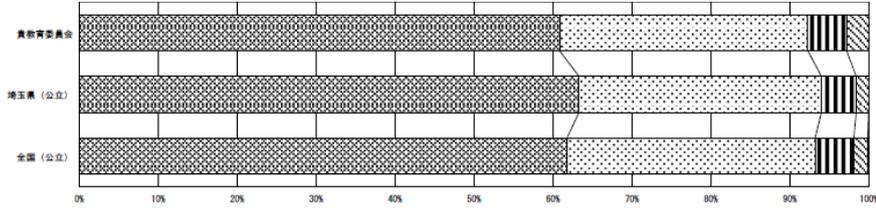
※1：質問番号(1)～(63)は、4月10日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※2：質問番号(国1)と(国2)、(算1)と(算2)は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数である。  
 ※4：【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの』である。





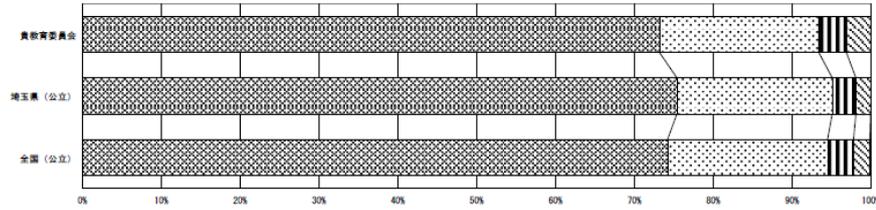
質問番号	質問事項											
(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	60.8	31.4	4.9	2.8							0.0	0.0
埼玉県（公立）	63.3	30.7	4.4	1.6							0.0	0.0
全国（公立）	61.8	31.4	4.9	1.8							0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



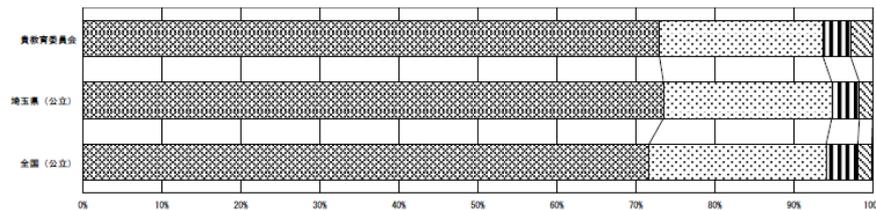
質問番号	質問事項											
(51)	算数の勉強は大切だと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	73.2	20.2	3.5	3.1							0.0	0.0
埼玉県（公立）	75.4	19.7	3.0	1.9							0.0	0.0
全国（公立）	74.3	20.3	3.3	2.1							0.0	0.1

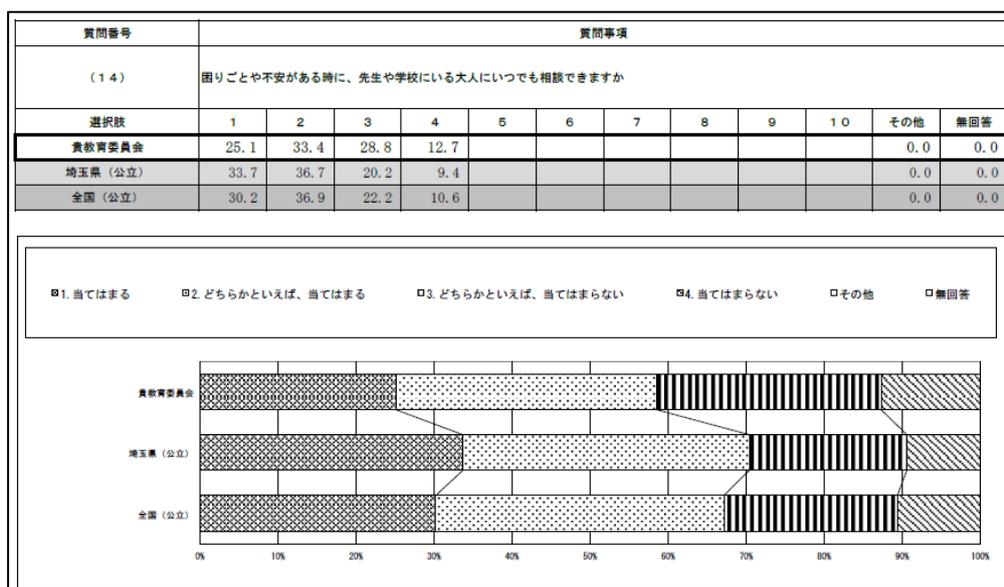
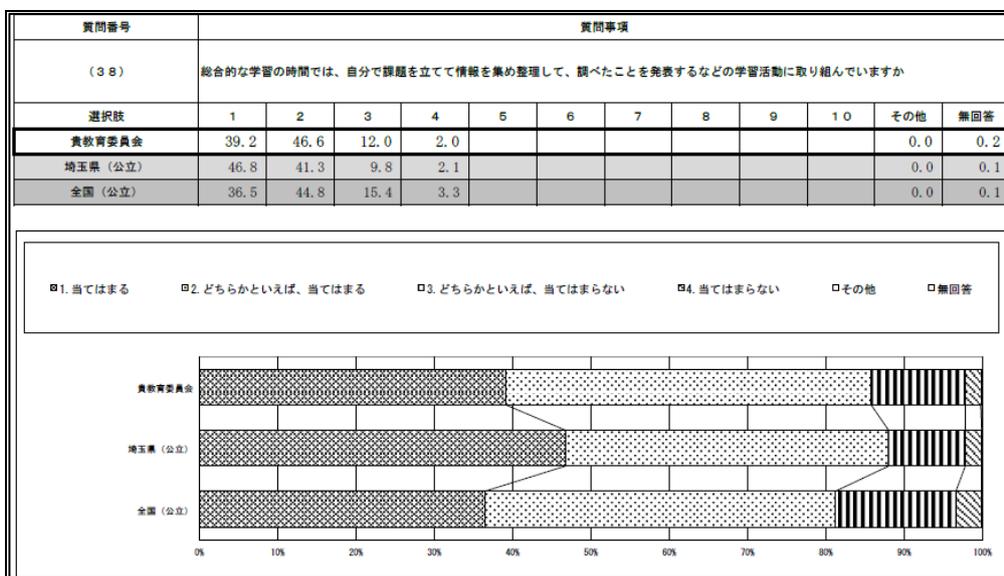
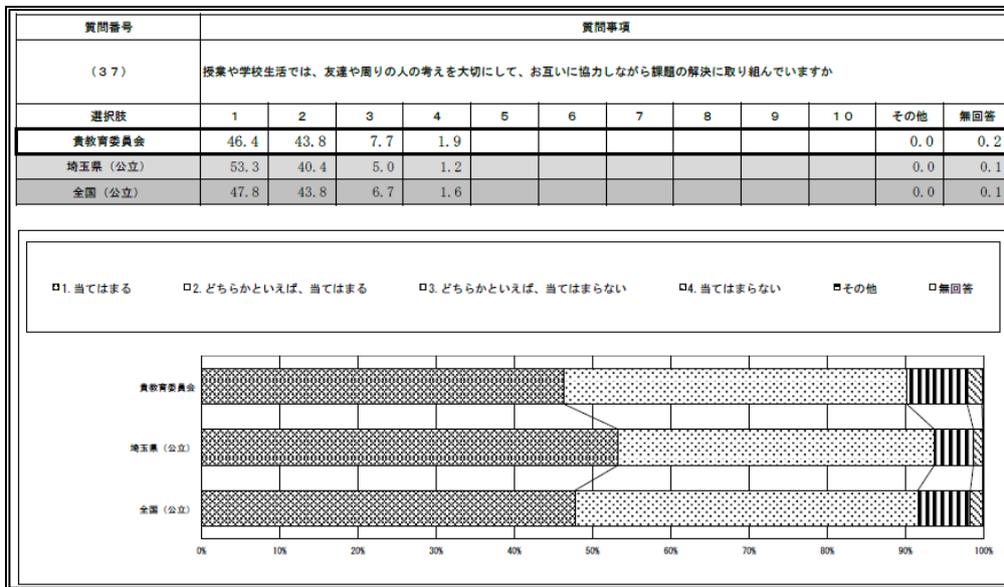
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

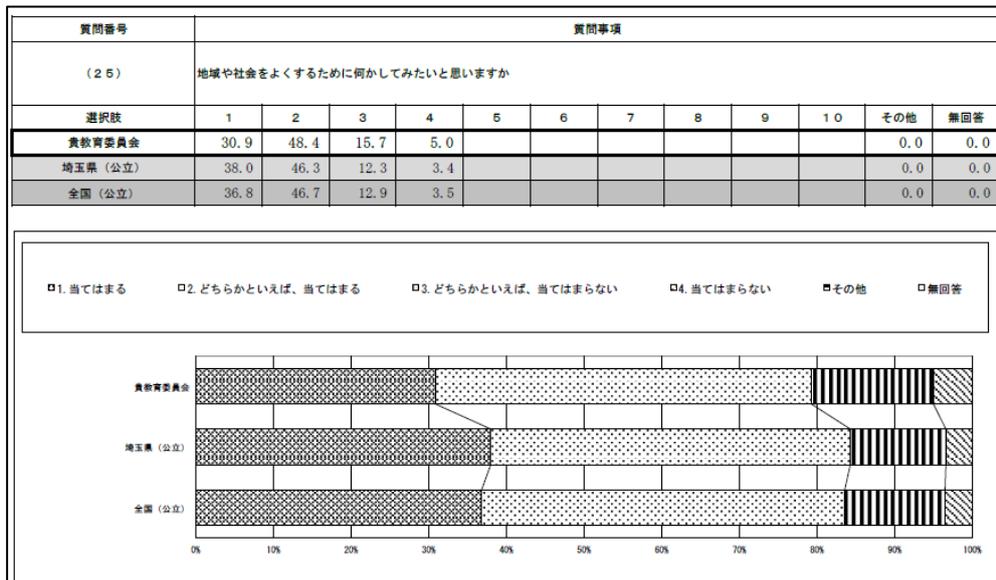
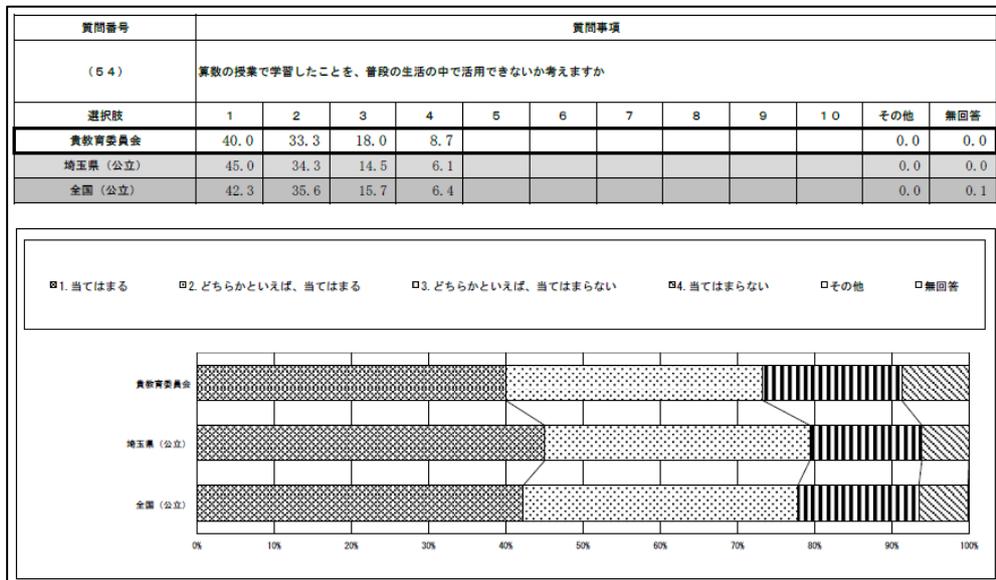
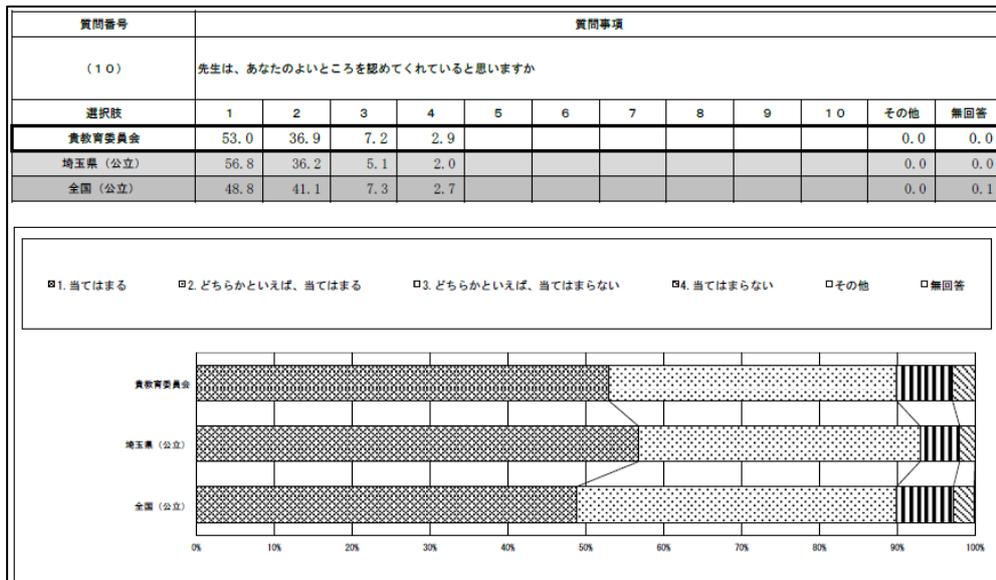


質問番号	質問事項											
(53)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	73.0	20.7	3.5	2.8							0.0	0.0
埼玉県（公立）	73.5	21.3	3.5	1.7							0.0	0.0
全国（公立）	71.7	22.4	4.0	1.8							0.0	0.1

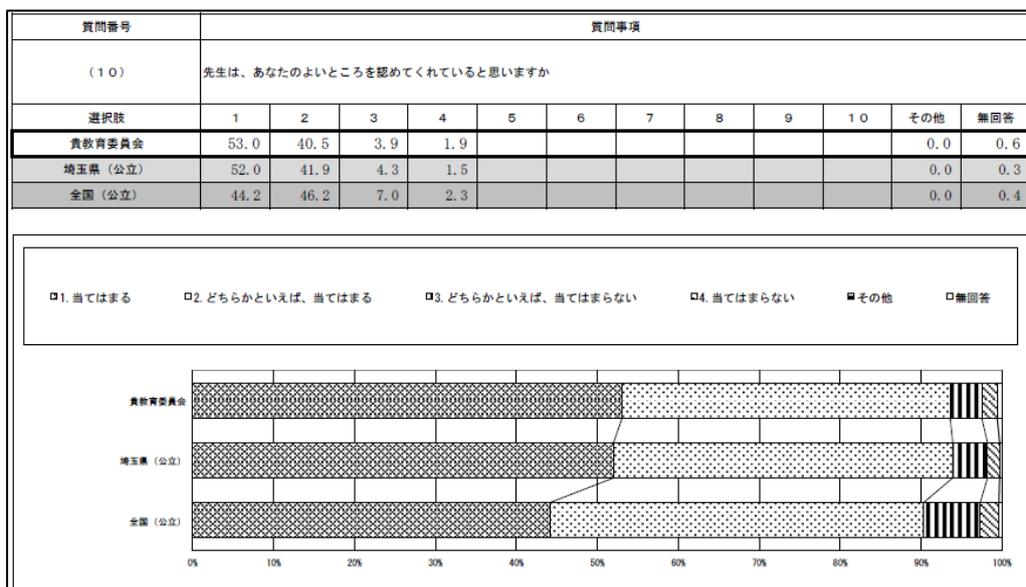
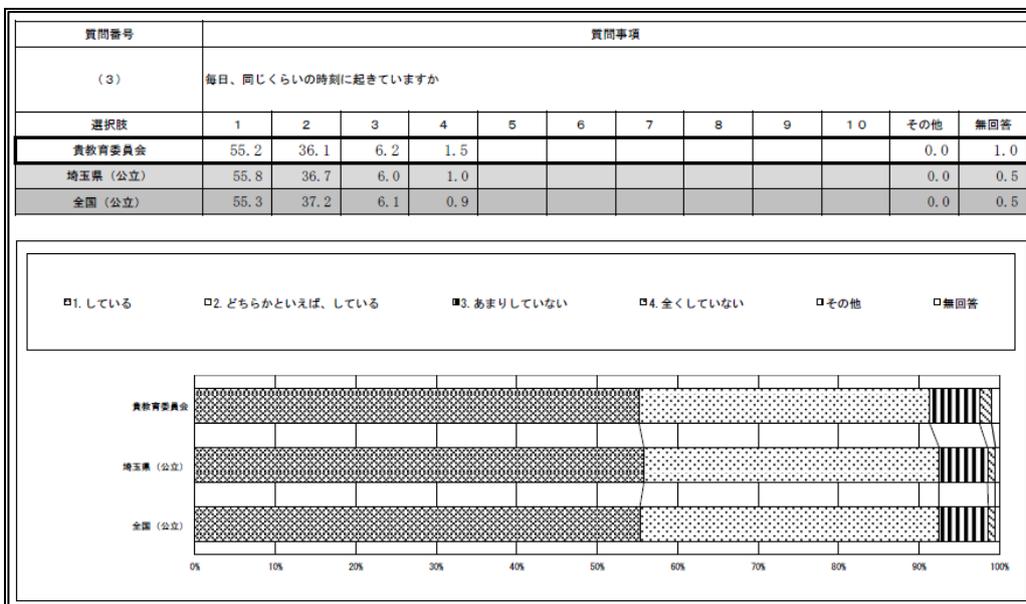
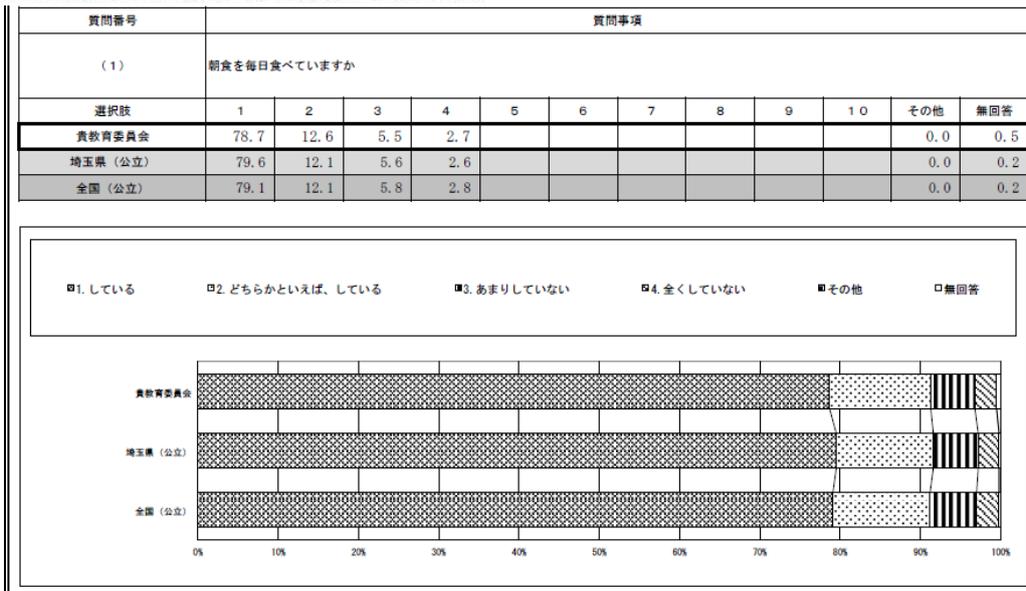
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答





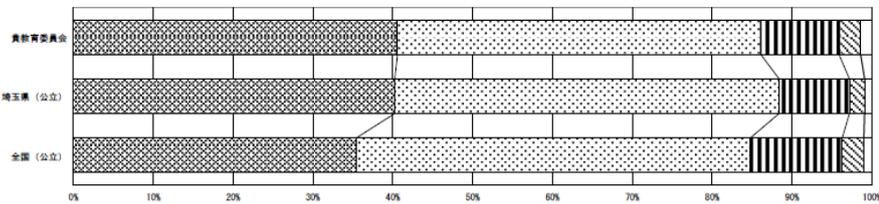


※1：質問番号(1)～(65)は、4月10日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※2：質問番号(国1)と(国2)、(数1)と(数2)は、それぞれ国語、数学の調査を4月18日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※3：①～③の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数である。  
 ※4：【その他】とは、【選択肢以外の回答や複数回答(複数回答質問を除く)されたもの】である。



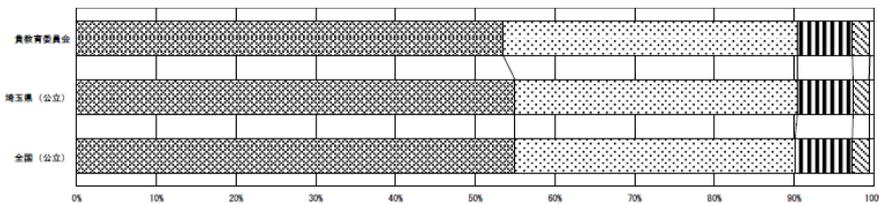
質問番号	質問事項											
(36)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	40.6	45.5	9.8	2.7							0.0	1.4
埼玉県 (公立)	40.2	48.1	8.8	1.9							0.0	0.9
全国 (公立)	35.5	49.4	11.5	2.7							0.0	1.0

1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答



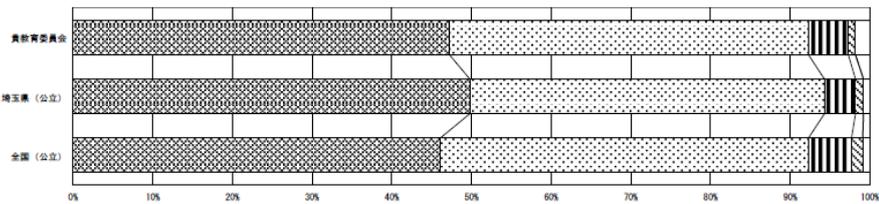
質問番号	質問事項											
(18)	友達関係に満足していますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	53.5	36.9	6.9	2.2							0.0	0.5
埼玉県 (公立)	55.0	35.4	7.0	2.0							0.0	0.6
全国 (公立)	55.0	35.1	7.2	2.1							0.0	0.6

1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答



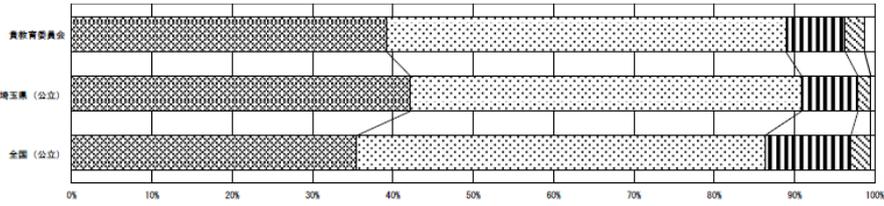
質問番号	質問事項											
(37)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	47.3	45.1	5.0	0.9							0.0	1.8
埼玉県 (公立)	49.8	44.5	3.9	1.0							0.0	0.8
全国 (公立)	46.1	46.2	5.4	1.4							0.0	0.9

1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答



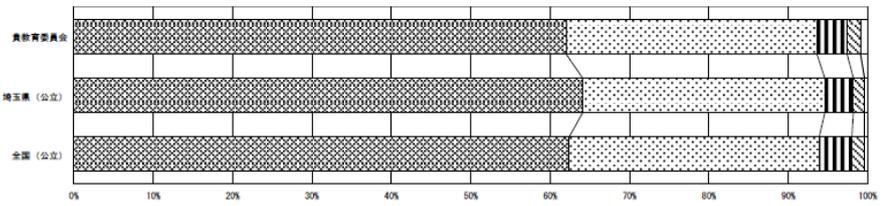
質問番号	質問事項												
(39)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	39.2	49.7	7.4	2.4							0.0	1.3	
埼玉県 (公立)	42.2	48.7	7.0	1.6							0.0	0.5	
全国 (公立)	35.5	50.8	10.7	2.5							0.0	0.5	

1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答



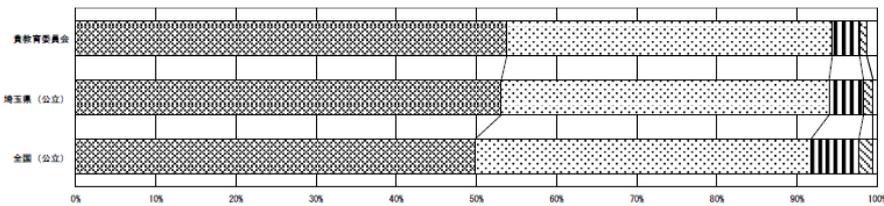
質問番号	質問事項												
(43)	国語の勉強は大切だと思いますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	62.0	31.6	3.8	1.7							0.0	0.9	
埼玉県 (公立)	64.1	30.5	3.6	1.4							0.0	0.4	
全国 (公立)	62.4	31.5	4.1	1.6							0.0	0.4	

1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答

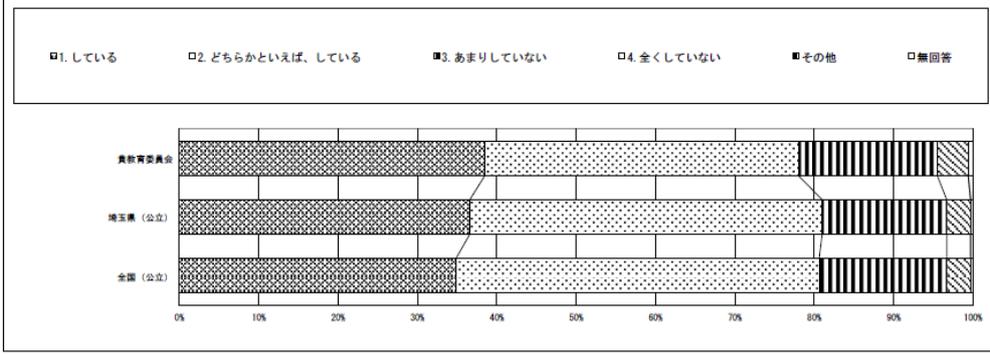


質問番号	質問事項												
(41)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	53.8	40.6	3.4	0.9							0.0	1.3	
埼玉県 (公立)	53.1	40.9	4.3	1.2							0.0	0.5	
全国 (公立)	49.8	41.9	6.0	1.8							0.0	0.5	

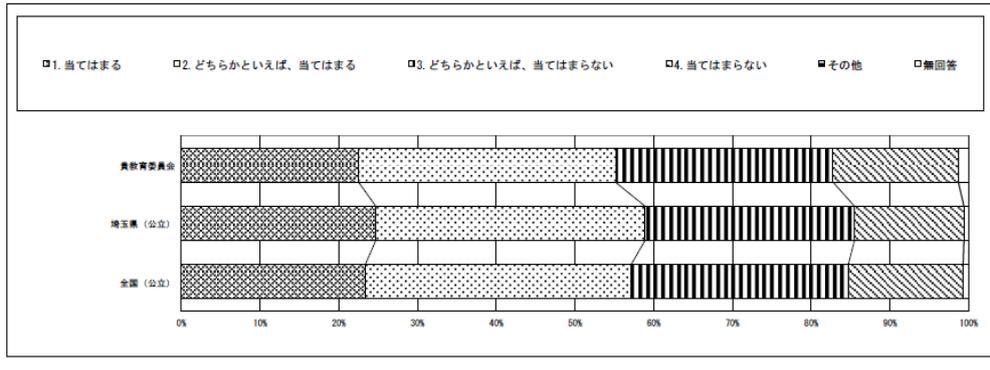
1. 当てはまる    
  2. どちらかといえば、当てはまる    
  3. どちらかといえば、当てはまらない    
  4. 当てはまらない    
  その他    
  無回答



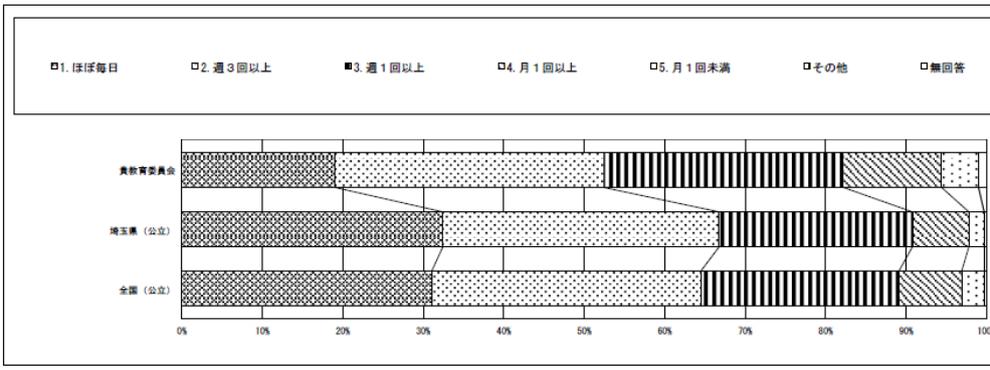
質問番号	質問事項												
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	38.5	39.5	17.5	3.9							0.0	0.6	
埼玉県 (公立)	36.6	44.4	15.7	3.0							0.0	0.3	
全国 (公立)	34.9	45.8	16.1	3.0							0.0	0.3	



質問番号	質問事項												
(54)	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	22.5	32.6	27.6	15.9							0.0	1.3	
埼玉県 (公立)	24.7	34.2	26.6	13.9							0.0	0.6	
全国 (公立)	23.4	33.8	27.6	14.6							0.0	0.7	

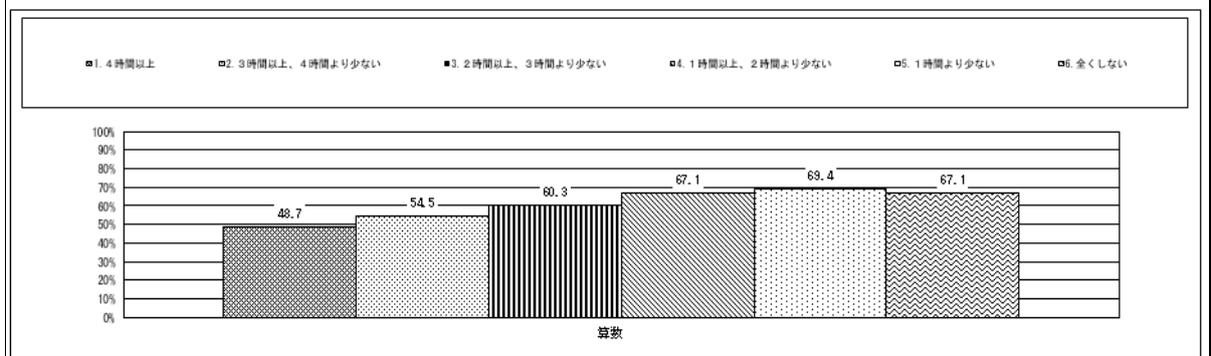
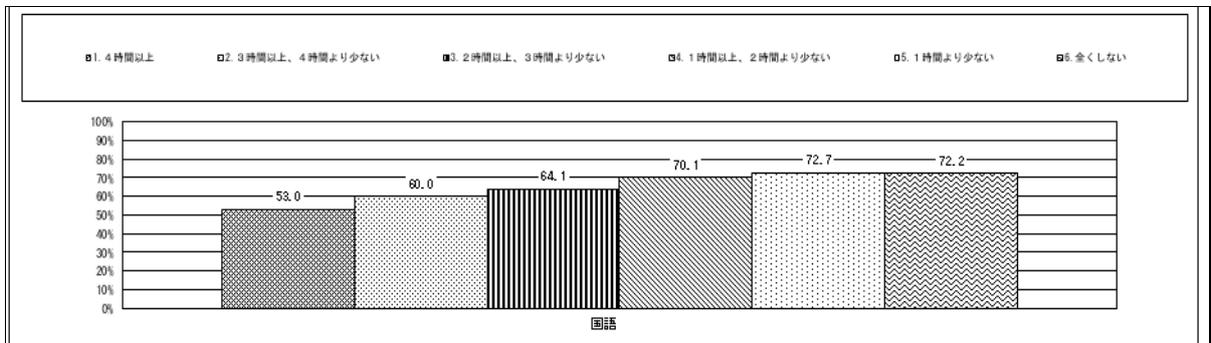


質問番号	質問事項												
(27)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴教育委員会	19.0	33.4	29.8	12.2	4.6						0.0	1.0	
埼玉県 (公立)	32.4	34.3	24.0	7.0	1.9						0.0	0.3	
全国 (公立)	31.0	33.4	24.6	7.8	2.8						0.0	0.3	

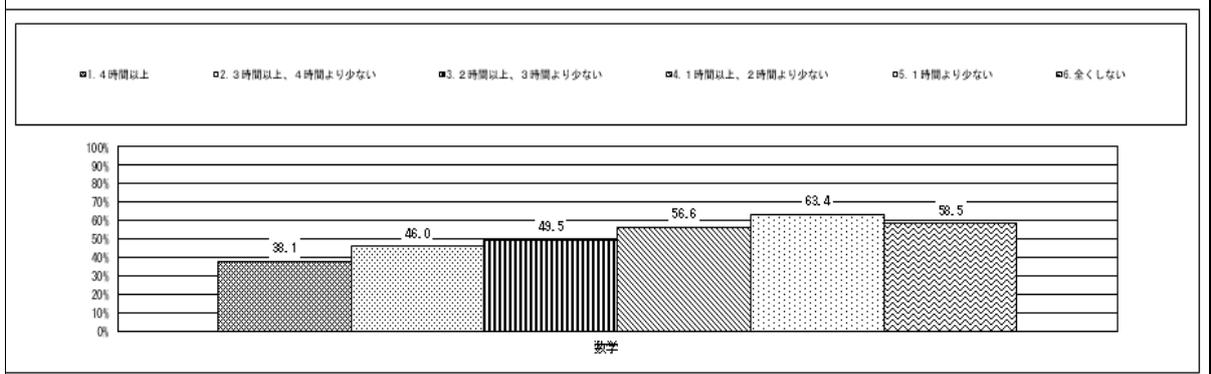
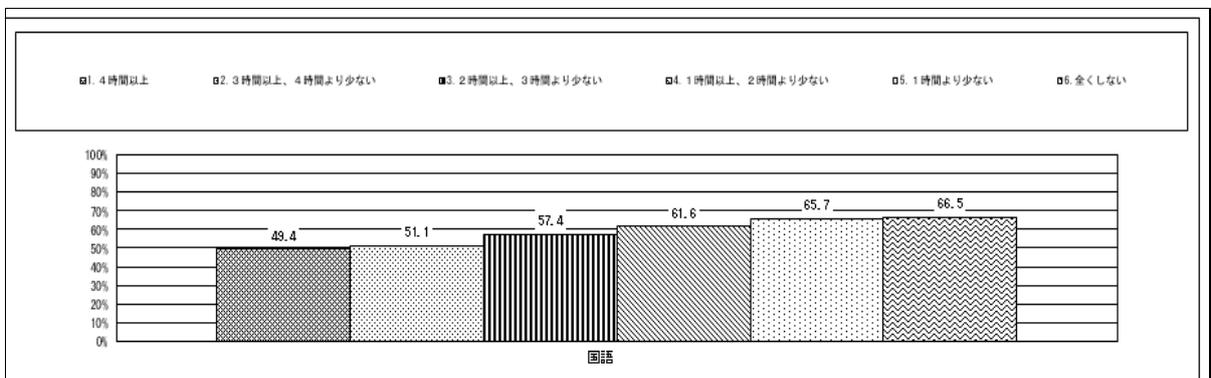


質問番号	質問事項
(5)	音段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

小

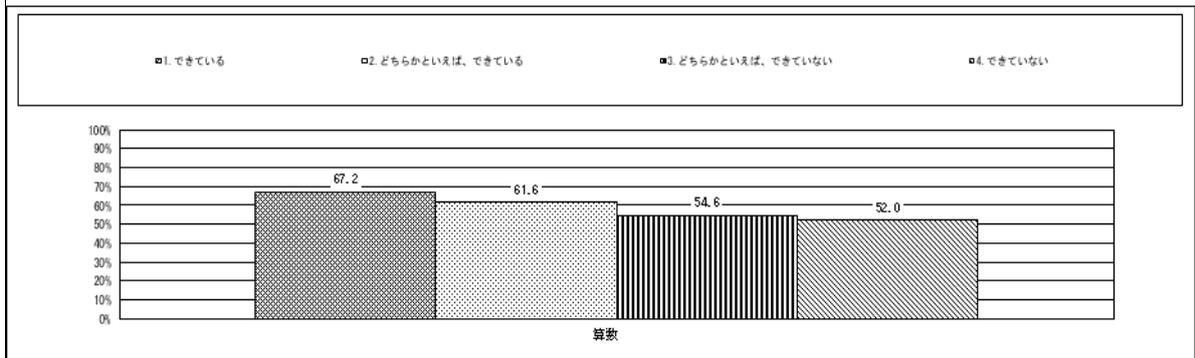
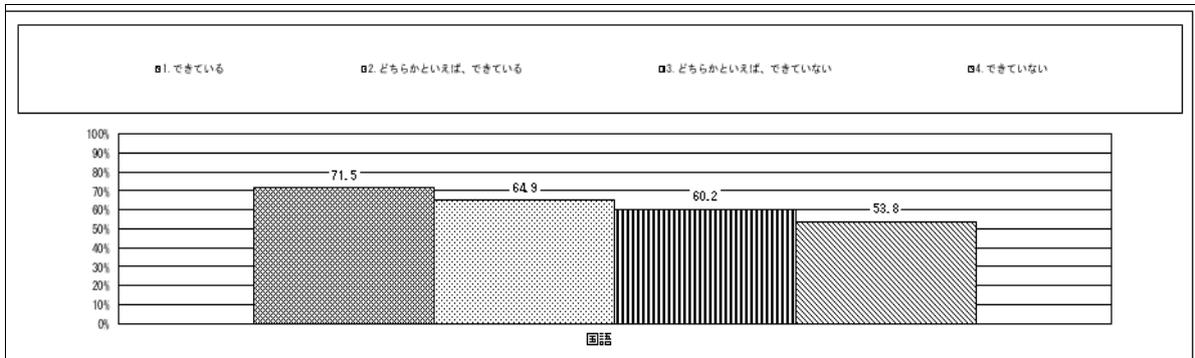


中

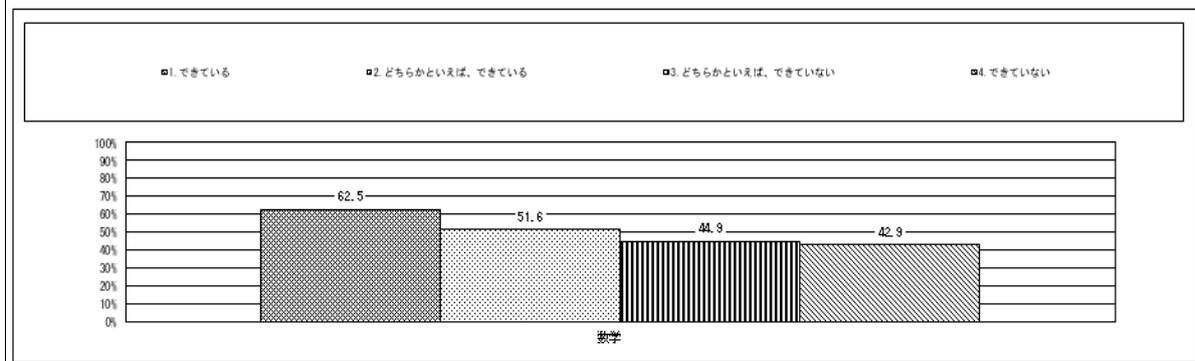
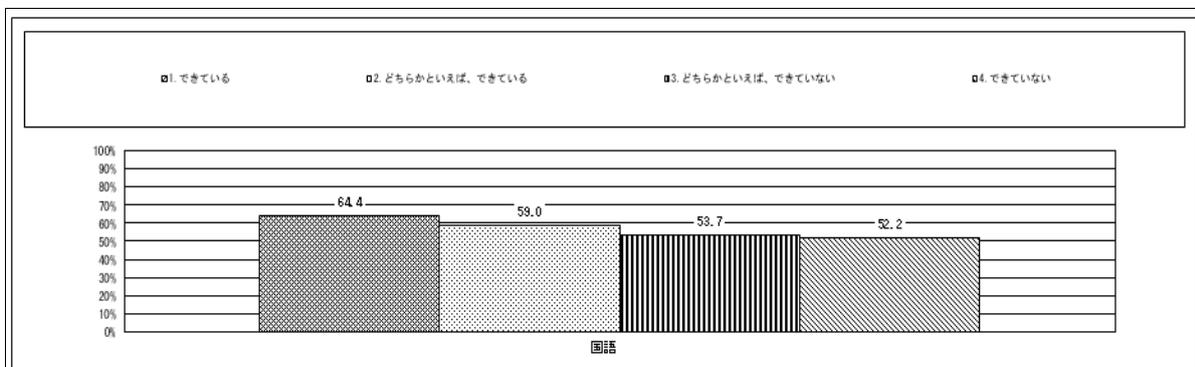


質問番号	質問事項
(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

小

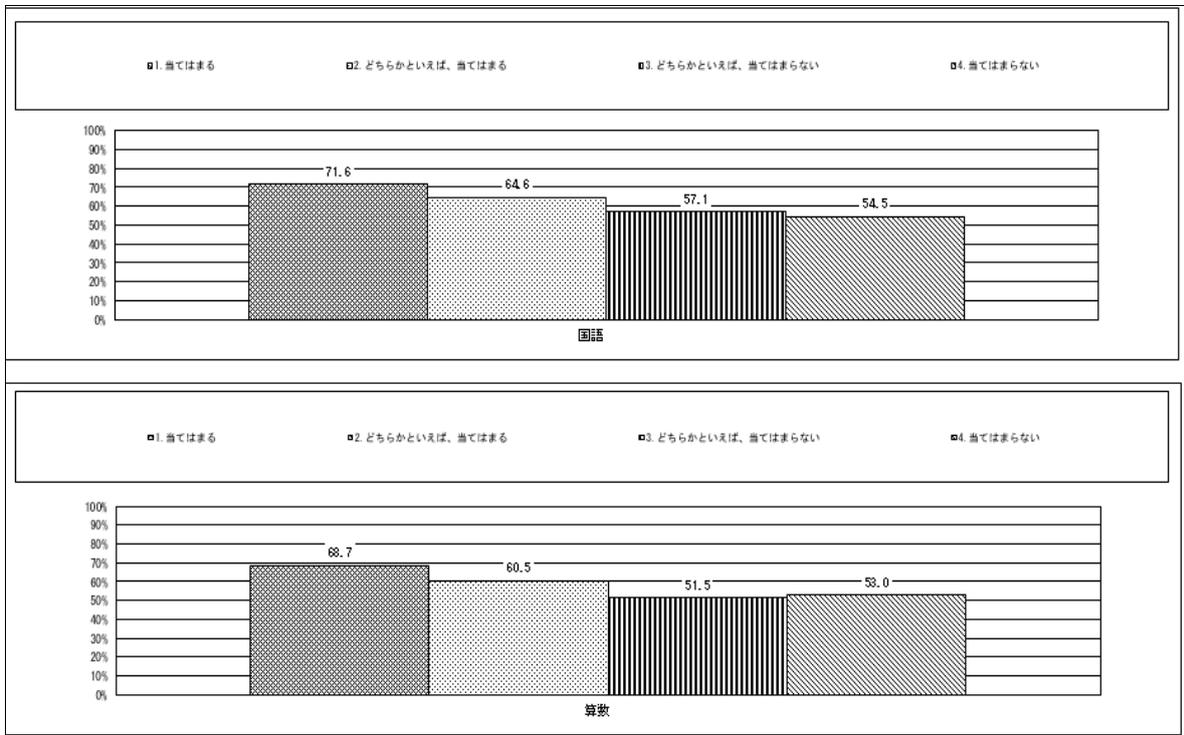


中

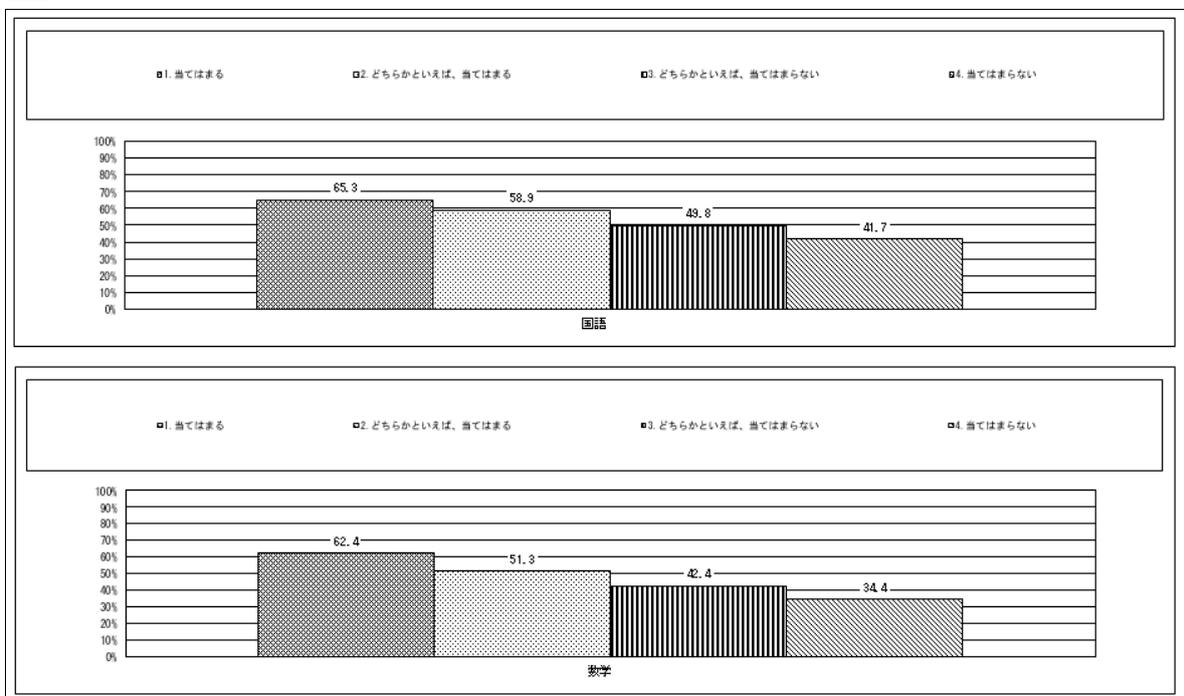


質問番号	質問事項
(30)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小

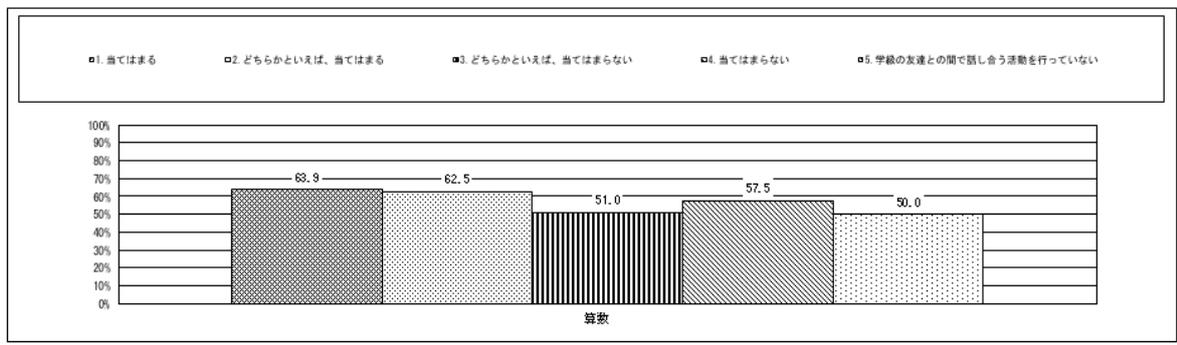
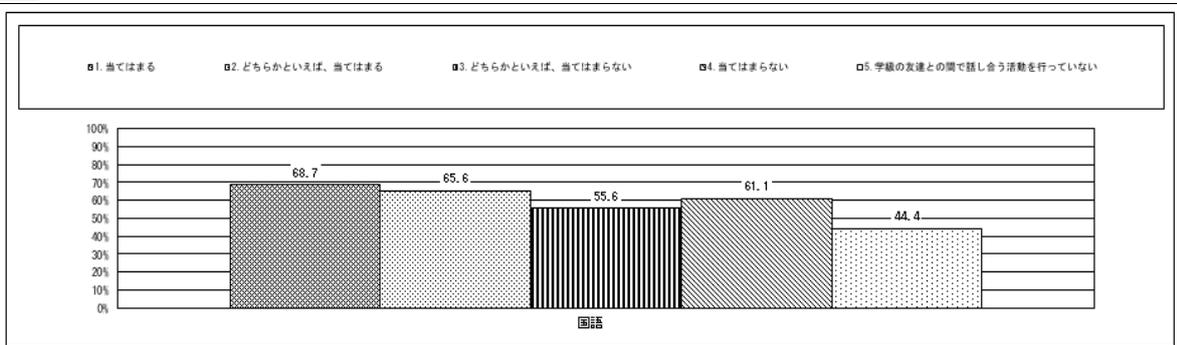


中

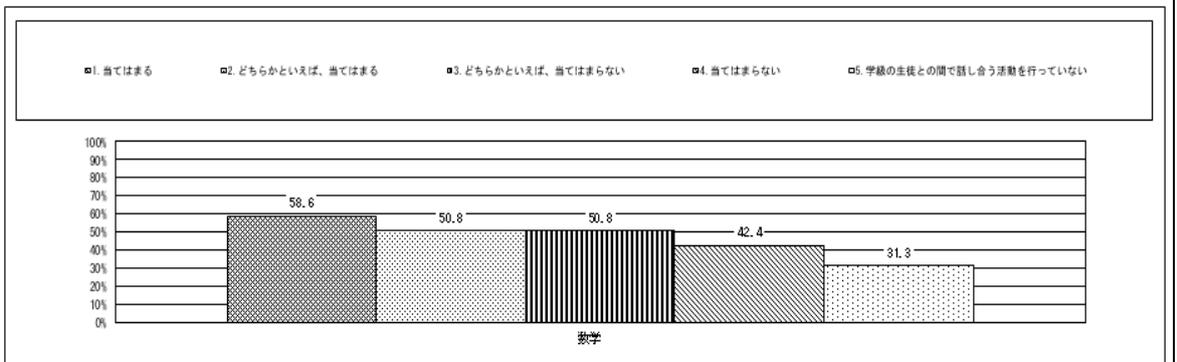
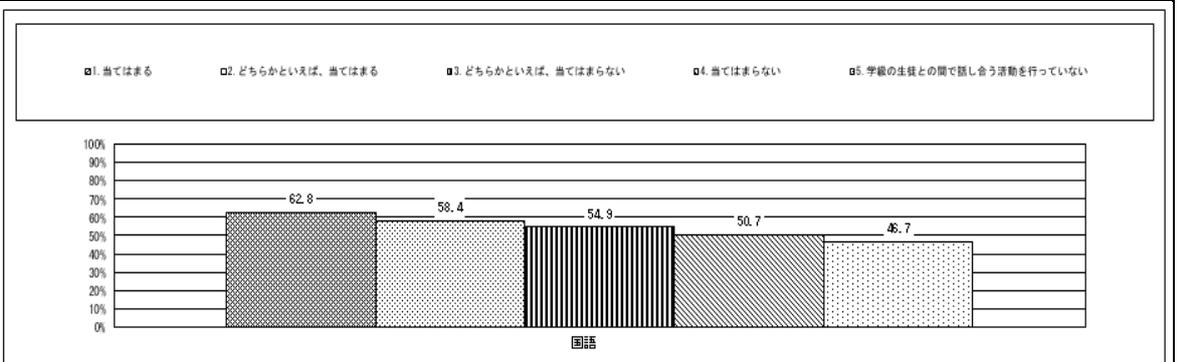


質問番号	質問事項
(33)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

小

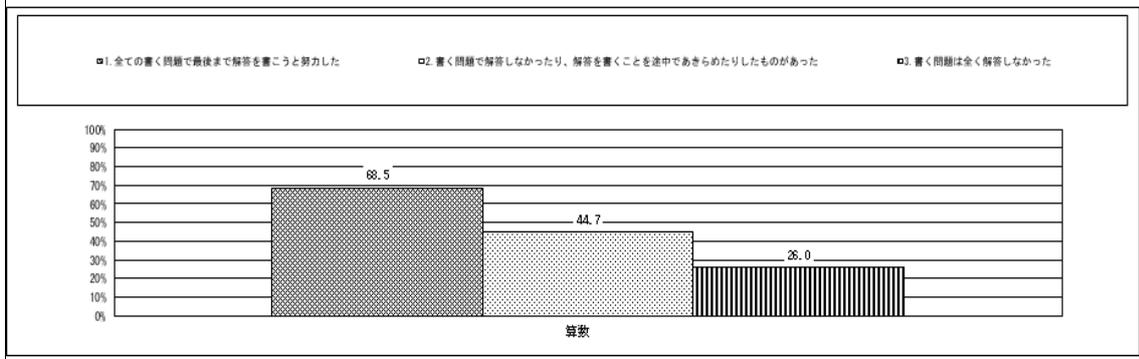
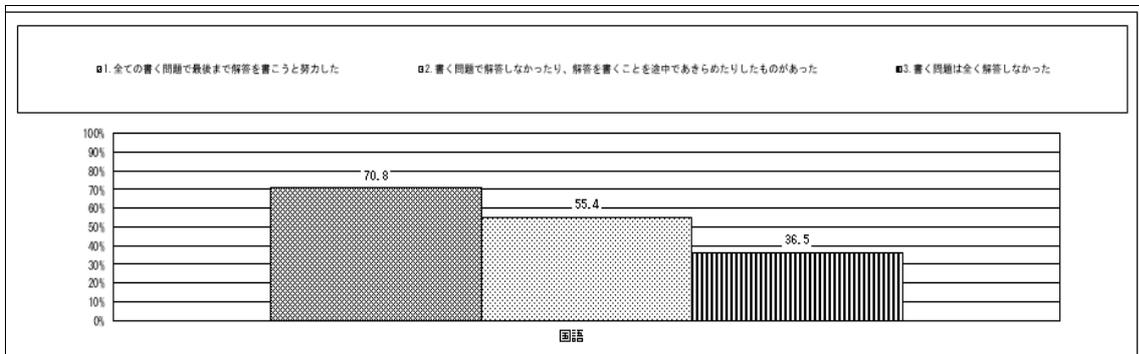


中

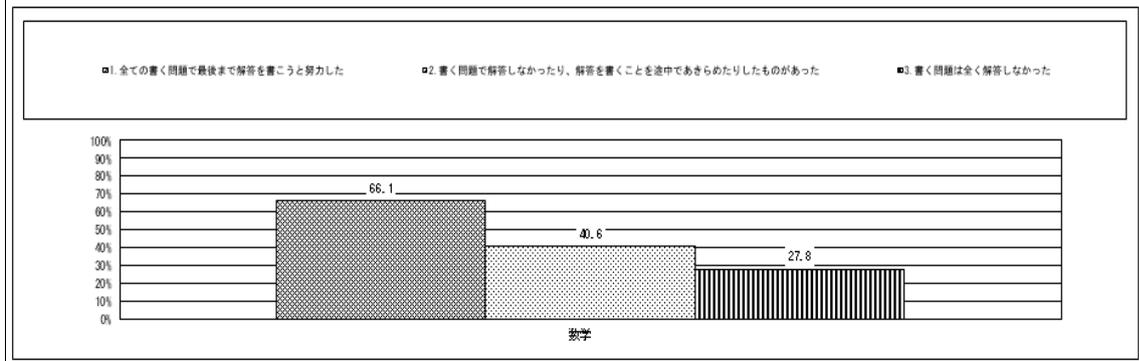
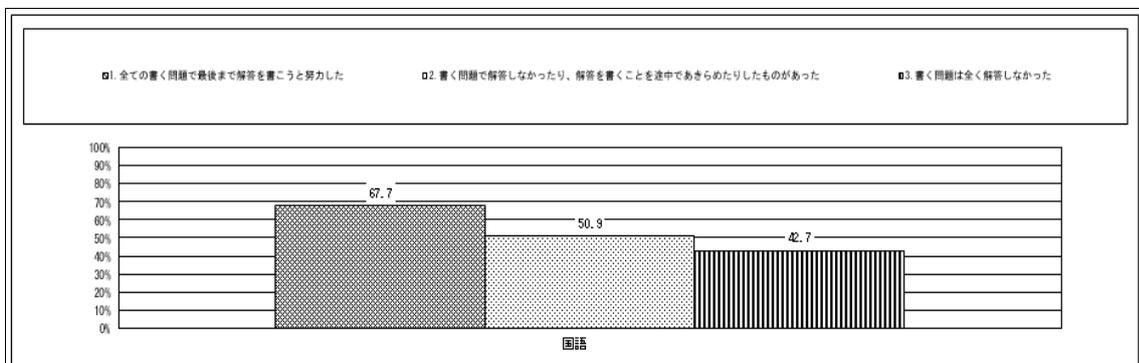


質問番号	質問事項
(算1)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

小



中



令和6年度  
埼玉県学力・学習状況調査について  
（速報値）



富士見市教育委員会

# 埼玉県学力・学習状況調査の結果について（速報）

《令和6年度埼玉県学力・学習状況調査の結果から（小4～中3）》

## 埼玉県学力・学習状況調査の特徴

- ・「〇年」というのは、前学年での学習内容に関する調査となる。  
例：中2＝中学1年時の学習内容
- ・小学校4年から中学校3年まで個人番号で管理するため、進級・進学後もその児童生徒の学力の伸びの経年変化を確認できる。
- ・調査開始10年目となり、同一集団の「学力の伸び」の経年変化がわかる。
- ・「学習した内容が身についているのか」という視点に加え、全国学力・学習状況調査にはない「一人ひとりの学力がどれだけ伸びているのか」という視点で分析が可能である。よって、県の平均値との比較のほか、どれだけ個人や集団が伸びたかを確認できる。
- ・市教委や各学校に、集団を5分類したグラフが提供されており、どのレベルの児童生徒が伸びているか、伸びていないかがわかるようになっている。
  - ①最上位の児童生徒が属するレベル
  - ②上位から25%に位置する児童生徒が属するレベル
  - ③中央に位置する児童生徒が属するレベル
  - ④上位から75%に位置する児童生徒が属するレベル
  - ⑤最下位の児童生徒が属するレベル
- ・令和6年度より全面CBTによる実施となった。

## 富士見市の傾向

○成果 ●課題

### 【学力調査より】

平均正答率について【資料1】【資料2】

- 国語においては、中学校2つの学年が県とおおむね同等である。
- 国語においては、小学校全学年で県平均を下回っている。
- 数学においては、中2、中3で県平均を上回っている。
- 算数においては、小6が県平均との差が大きく、前年度と比較しても差が広がっている。
- 英語においては、中2で県平均を上回っている。

- 無回答率は、小学校で高いが、国語において、学年が上がるごとに低くなっている。算数・数学においては、小5、小6、中1で無回答率が高い。

※中2の国語、数学、英語において、県の無回答率より低い。

#### 【考察】

過去5年間と比較しても、中2、中3で県平均を上回るという傾向にあるので、小学校段階での学力定着の手立てを模索して、課題のある領域を中心に実践していく必要がある。

(参考資料)P.4 資料1 埼玉県学力・学習状況調査平均正答率(平成31～令和6年度)

#### 学力の伸びについて【資料3】【資料4】

- 国語において、中2で県の伸びを上回っている。
- 数学において、中2で県の伸びを上回っている。
- 小6国語と中1国語と数学において伸びが-1となっている。

#### 【考察】

学年が上がるごとに、県平均との差が小さくなっている状況は、成果として捉えられる。集団を5分類した伸びの状況をみると、中間層の伸び悩みが課題であり、個別最適化された授業展開が求められる。

(参考資料) P.6 資料3 令和6年度埼玉県学力・学習状況調査結果(経年変化)

P.7 資料4 令和6年度埼玉県学力・学習状況調査 調査結果(学力の伸びの状況)

#### 学力レベルについて【資料5】【資料6】

- 小4、小6、中1、中2の国語において、小4、小5、小6、中1、中3の算数・数学において、過去の同学年と比較し低いレベルである。
- 県のレベルも同様に過去の同学年と比較し低いレベルを示している。
- ヒストグラムをみると、学年が上がるごとに、学力レベルが低い児童生徒の割合が増加している。

#### 【考察】

過去5年間と比較して、県も市も低い学力レベルを示していることから、今年度全面実施となったC B T化による影響が表れていると考えられるが、I C T機器の活用がどこまで学力レベルと関係するか注視していく必要がある。

(参考資料) P.8 資料5 埼玉県学力・学習状況調査 異なる年度の過去の同学年との比較(平成31～令和6年度)

(参考資料) P.13 資料8 R6 県学調 児童生徒質問紙調査より抜粋「授業でパソコンやタブレットを使っていますか」

**【質問紙調査より】【資料7】【資料8】【資料9】**

- 「規律ある態度」の、全72項目(6学年、12項目)中、54項目において「できる・だいたいできる」と回答している割合が80%を超えている。
- 「規律ある態度」の「登校時刻」「くつそろえ」「返事」「集団の場での態度」「話を聞き発表する」「掃除・美化活動」は、前年度の割合より高くなっている。
- 「規律ある態度」の「授業開始時刻」「あいさつ」「掃除・美化活動」は多くの学年で県を下回っている。
- 「(前学級の)学級での生活は楽しかった」「(前学級の)友達は自分のよいところを認めてくれた」は、9割程度の児童生徒が好意的な回答をしている。
- 「(前学級の)先生は、自分のよいところを認めてくれた」「(前学級の)先生は、授業やテストで分からなかったことなどを分かるまで教えてくれた」は、8割程度の児童生徒が好意的な回答をしている。
- テレビゲームや携帯電話(スマートフォン)を使う時は、家族と約束を決めて、よく守っていると回答している。
- 「今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっている」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。
- 国語、算数・数学の授業で、パソコンやタブレットを週1~2回程度以上使っている割合は、多くの学年で県を下回っている。

**【考察】**

「規律ある態度」の回答から、生活態度はおおむね県の数値と同等である。また、児童生徒が、友人サポートや教師サポートが高いと捉えていることは、学習環境として望ましい。この結果を踏まえ、教師が声かけを行う際、課題が明確になるよう具体的な視点を与え、かつ、共感的、肯定的な言葉を用いていくことで、学力向上につなげていく意識をもたせたい。また、1人1台端末を活用した効果的な学習を推進している市としては、ICTの活用頻度が多くの学年で県より低い実態について、要因を明らかにし、対応を考える必要がある。

(参考資料) P.11 資料7 令和6年度「規律ある態度」結果

P.12、13 資料8 R6 県学調 児童生徒質問紙調査より抜粋

「学級での生活は楽しかった」「友達は自分のよいところを認めてくれた」  
「先生は、授業やテストで分からなかったこと～分かるまで教えてくれた」

埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(平成31～令和6年度)

資料1

		国語						算数・数学						英語						
		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		県の数値より上の数値	県の数値と同じ数値	県の数値より-2P以上の数																
4	小4	埼玉県	56.1	64.3	58.0	62.1	63.6	51.9	70.2	64.2	69.9	63.0	63.9	62.6						
		富士見市	53.1	63.2	56.2	60.0	61.2	48.6	69.1	63.5	67.9	60.9	62.2	61.3						
	小5	埼玉県	52.3	62.1	56.7	56.2	62.7	56.9	68.2	61.7	61.6	63.0	63.0	53.4						
		富士見市	49.2	59.6	54.4	55.0	62.9	54.9	65.0	59.0	59.3	60.9	62.0	51.7						
	小6	埼玉県	62.2	58.8	58.6	63.8	60.8	56.7	61.5	59.0	60.9	59.8	56.5	50.9						
		富士見市	61.3	58.5	57.6	62.7	61.8	55.0	60.3	57.6	58.5	57.9	54.7	46.7						
	中1	埼玉県	63.3	61.1	61.3	58.8	63.8	59.9	59.8	60.2	59.4	57.7	56.4	53.5						
		富士見市	62.6	59.9	59.8	57.6	63.5	58.4	58.1	58.9	57.6	56.4	55.4	49.6						
	中2	埼玉県	59.3	63.8	63.1	57.1	60.2	60.3	59.8	58.6	59.1	52.7	59.0	48.8	56.3	57.3	62.6	59.0	53.3	61.9
		富士見市	59.5	64.1	62.3	57.3	61.5	60.3	59.7	58.7	60.4	53.7	60.1	50.8	56.2	56.1	62.2	60.5	52.7	62.5
	中3	埼玉県	53.4	72.7	68.1	56.3	55.5	66.4	58.2	57.7	58.1	57.1	60.8	57.5	55.8	55.7	60.0	55.9	50.4	54.6
		富士見市	53.6	72.7	67.8	55.4	57.5	66.3	59.3	58.8	60.1	58.5	64.8	58.1	57.2	56.8	59.7	55.9	53.9	54.5

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査 調査結果（帳票28より抜粋）

資料2

【国語】

小学校 4年生	平均正答率（％）		小学校 5年生	平均正答率（％）		小学校 6年生	平均正答率（％）		中学校 1年生	平均正答率（％）		中学校 2年生	平均正答率（％）		中学校 3年生	平均正答率（％）	
	市	県		市	県		市	県		市	県		市	県		市	県
話・聞・書	41.5	45.5	話・聞・書	48.5	51.6	話・聞・書	49.6	52.1	話・聞・書	54.3	58.9	話・聞・書	71.5	72.4	話・聞・書	53.2	55.4
読む	34.6	39.9	読む	46.5	48.0	読む	47.5	49.4	読む	50.4	52.3	読む	60.5	60.7	読む	69.5	70.4
言葉の特徴・使い方	62.3	63.1	言葉の特徴・使い方	63.8	65.1	言葉の特徴・使い方	61.3	62.8	言葉の特徴・使い方	60.2	60.5	言葉の特徴・使い方	67.7	67.6	言葉の特徴・使い方	68.3	67.5
情報の扱い・言語文化	34.1	41.8	情報の扱い・言語文化	48.9	53.1	情報の扱い・言語文化	54.7	55.3	情報の扱い・言語文化	71.8	74.0	情報の扱い・言語文化	43.9	43.7	情報の扱い・言語文化	70.4	69.5
全体	48.6	51.9	全体	54.9	56.9	全体	55.0	56.7	全体	58.4	59.9	全体	60.3	60.3	全体	66.3	66.4
学力レベル（平均）	市	県															
R6 小4	5-C	5-B	R5 小4	6-C	6-C	R5 小5	7-C	7-C	R5 小6	7-A	7-B	R5 中1	7-A	8-C	R5 中2	8-B	8-B
			R6 小5	6-B	6-B	R6 小6	6-A	7-C	R6 中1	7-B	7-A	R6 中2	8-C	8-C	R6 中3	9-C	9-C
			伸び	1	1	伸び	-1	0	伸び	-1	1	伸び	1	0	伸び	2	2

【算数・数学】

5

小学校 4年生	平均正答率（％）		小学校 5年生	平均正答率（％）		小学校 6年生	平均正答率（％）		中学校 1年生	平均正答率（％）		中学校 2年生	平均正答率（％）		中学校 3年生	平均正答率（％）	
	市	県		市	県		市	県		市	県		市	県		市	県
数と計算	66.1	65.5	数と計算	49.4	50.9	数と計算	52.1	56.1	数と計算	57.1	61.0	数と計算	56.8	53.7	数と計算	66.8	66.1
図形	55.3	56.1	図形	62.4	64.0	図形	47.6	51.3	図形	50.2	54.4	図形	34.2	33.3	図形	58.9	59.3
関数	61.0	63.2	関数	46.5	48.6	関数	53.0	58.8	関数	46.7	51.4	関数	57.9	57.6	関数	57.4	57.0
データの活用	57.0	62.1	データの活用	45.6	48.0	データの活用	22.3	25.8	データの活用	32.3	34.1	データの活用	52.0	49.3	データの活用	44.2	42.3
全体	61.3	62.6	全体	51.7	53.4	全体	46.7	50.9	全体	49.6	53.5	全体	50.8	48.8	全体	58.1	57.5
学力レベル（平均）	市	県															
R6 小4	4-A	4-A	R5 小4	5-C	5-C	R5 小5	6-C	6-C	R5 小6	6-B	6-B	R5 中1	7-C	7-C	R5 中2	8-C	8-C
			R6 小5	5-B	5-B	R6 小6	6-C	6-B	R6 中1	6-C	6-B	R6 中2	8-C	7-A	R6 中3	8-C	8-C
			伸び	1	1	伸び	0	1	伸び	-1	0	伸び	3	2	伸び	0	0

【英語】

中学校2年生	平均正答率（％）		中学校3年生	平均正答率（％）	
	市	県		市	県
聞くこと	80.5	81.1	聞くこと	58.6	59.9
話すこと	36.9	37.0	話すこと	43.2	45.5
読むこと	59.3	58.0	読むこと	54.9	54.0
書くこと	50.5	49.8	書くこと	50.1	50.7
全体	62.5	61.9	全体	54.5	54.6
学力レベル（平均）	市	県	学力レベル（平均）	市	県
R6 中2	9-C	9-C	R5 中2	9-C	9-C
			R6 中3	10-C	10-C
			伸び	3	3

県を超えるもの  
県と同数値



令和6年度埼玉県学力・学習状況調査結果(経年変化)

資料3

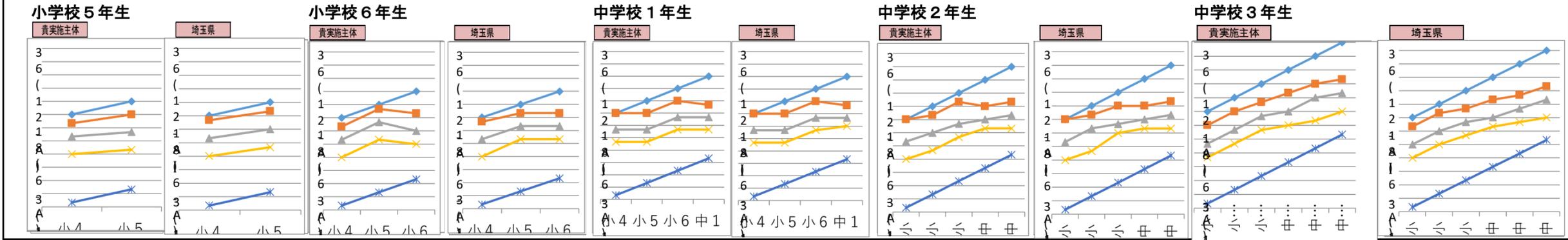
		国語							算数・数学							英語						
		平均正答率 (R6年度)	学力レベル					同集団の1年間の伸び	平均正答率 (R6年度)	学力レベル					同集団の1年間の伸び	平均正答率 (R6年度)			同集団の1年間の伸び			
			平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			令和6年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	平成4年度			令和5年度	令和6年度		令和5年度	令和6年度	
小4	埼玉県	51.9						5-B		62.6							4-A					
	富士見市	48.6						5-C		61.3							4-A					
小5	埼玉県	56.9					6-C	6-B	1	53.4					5-C	5-B	1					
	富士見市	54.9					6-C	6-B	1	51.7					5-C	5-B	1					
小6	埼玉県	56.7				6-C	7-C	7-C	0	50.9				5-B	6-C	6-B	1					
	富士見市	55.0				5-A	7-C	6-A	-1	46.7				5-B	6-C	6-C	0					
中1	埼玉県	59.9			6-A	6-A	7-B	7-A	1	53.5				5-A	6-C	6-B	6-B	0				
	富士見市	58.4			6-B	6-B	7-A	7-B	-1	49.6				5-B	6-C	6-B	6-C	-1				
中2	埼玉県	60.3		6-B	6-A	7-A	8-C	8-C	0	48.8			5-B	6-B	6-A	7-C	7-A	2	61.9			9-C
	富士見市	60.3		6-C	6-A	7-B	7-A	8-C	1	50.8			5-B	6-C	6-A	7-C	8-C	3	62.5			9-C
中3	埼玉県	66.4	5-A	6-A	7-B	8-C	8-B	9-C	2	57.5	5-B	6-C	7-C	7-B	8-C	8-C	0	54.6	9-C	10-C	3	
	富士見市	66.3	5-B	6-A	7-B	7-A	8-B	9-C	2	58.1	5-B	5-A	6-A	7-B	8-C	8-C	0	54.5	9-C	10-C	3	

9

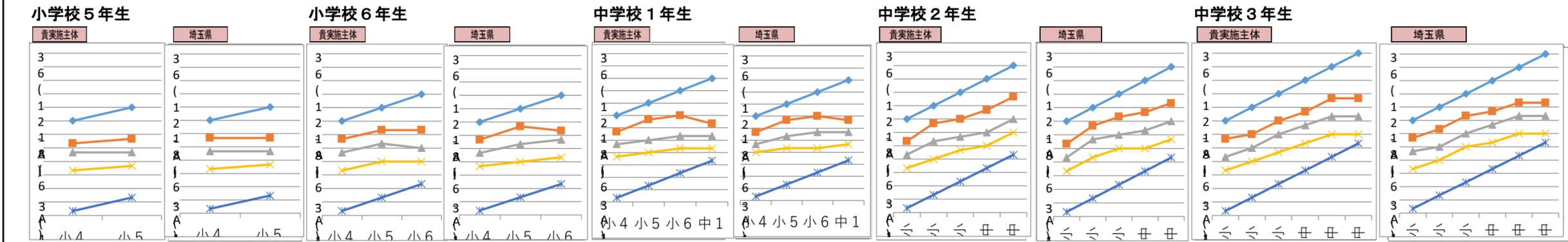
同集団の1年間の伸び	小学校国語		中学校国語		国語計		小学校算数		中学校数学		算・数計		中学校英語		小学校計		中学校計	
	県	1	県	3	県	4	県	2	県	2	県	4	県	3	県	3	県	8
市	0	市	2	市	2	市	1	市	2	市	3	市	3	市	1	市	7	

※本表の見方例【中3の経年学力レベル＝H31小4 5-B R2小5 6-A … R6中3 9-C】

国語



算数・数学



【グラフの見方】

・ グラフの縦軸は、学力レベルを36段階で表しています。また、目盛は個人結果票の学力レベル（12段階）を表しています。

- ◆ ⇒ 最大値（最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル）
- ⇒ 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル）
- ▲ ⇒ 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル）
- × ⇒ 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル）
- ＊ ⇒ 最小値（最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル）

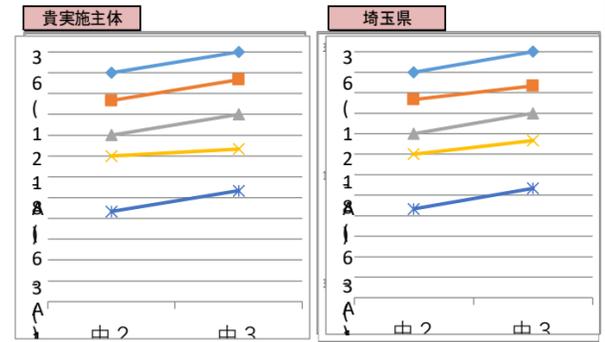
【活用の仕方（例）】

線の傾きのパターンにより、それぞれの層に属する児童生徒の状況を把握し、前年度の指導等の効果を考えるときの参考とする。

どの分布も右肩上がり	傾きにばらつき①	傾きにばらつき②
上位層、中位層、下位層の、いずれの層の児童生徒も学力を伸ばしている。	上位層に伸びは見られないが、中位層、下位層の児童生徒の学力は伸びている。	上位層は伸びているが、中位層にほとんど変化はなく、下位層の学力は下がっている。

英語

中学校3年生

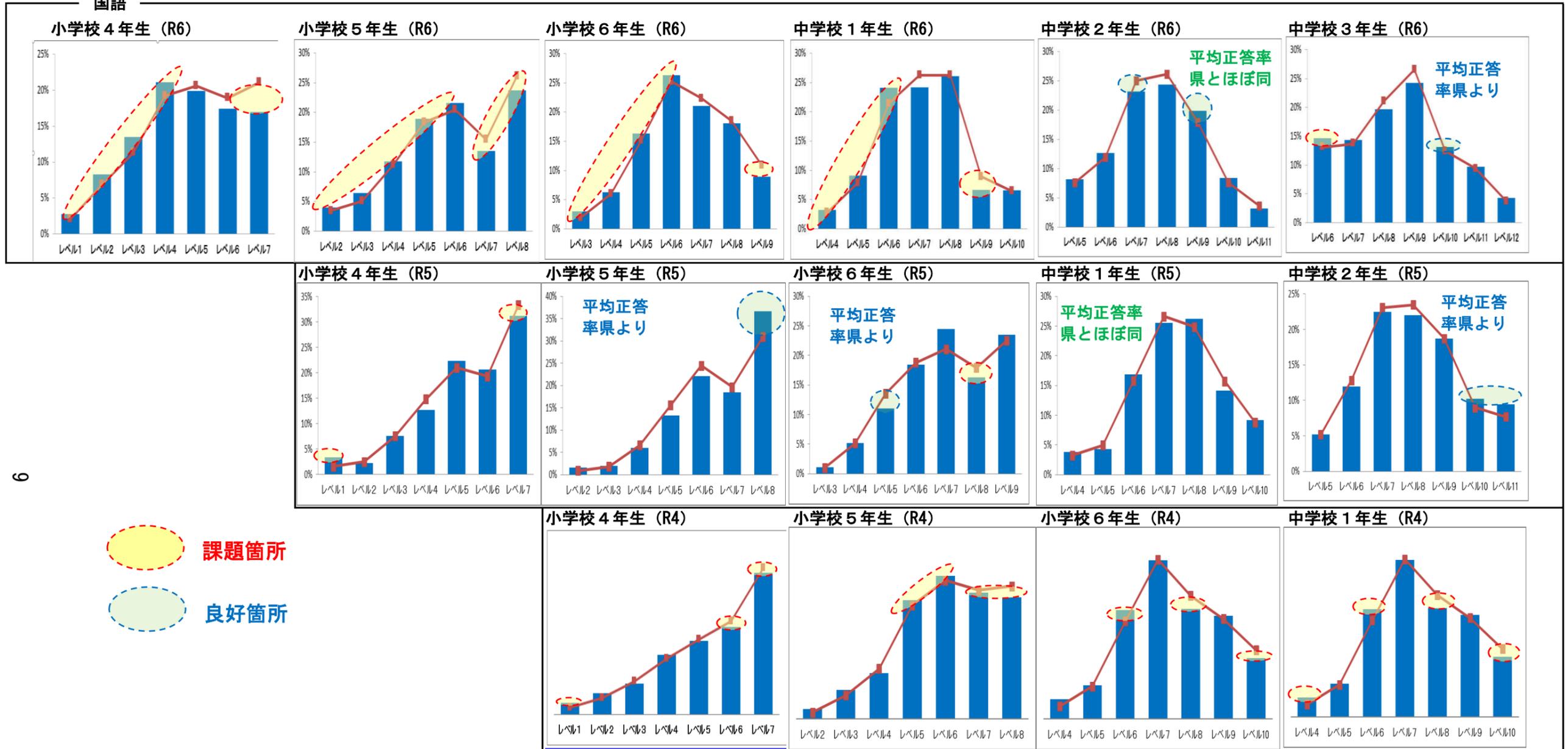


埼玉県学力・学習状況調査 異なる年度の過去の同学年との比較(平成31～令和6年度) 資料5

8

		国語					算数・数学						英語							
		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
過去5年間の 学年ごと学力 レベルの最低	小4	埼玉県	15	17	18	16	16	14	14	14	15	14	13	12						
		富士見市	14	16	17	15	16	13	14	14	14	14	13	12						
	小5	埼玉県	17	18	18	18	19	17	17	16	17	16	16	14						
		富士見市	16	18	18	17	19	17	16	15	16	16	16	14						
	小6	埼玉県	20	20	20	21	20	19	18	18	19	18	17	17						
		富士見市	20	20	20	20	21	18	18	18	18	18	17	16						
	中1	埼玉県	22	22	22	22	22	21	20	20	20	20	19	17						
		富士見市	22	22	21	21	21	20	20	20	19	20	19	16						
	中2	埼玉県	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	21	25	26	26	26	25	25
		富士見市	23	24	23	24	23	22	22	22	22	22	22	22	25	25	26	27	25	25
	中3	埼玉県	24	25	25	25	24	25	23	24	24	24	24	22	28	28	28	29	28	28
		富士見市	24	25	25	25	25	25	24	24	24	24	25	22	28	28	28	29	29	28

国語

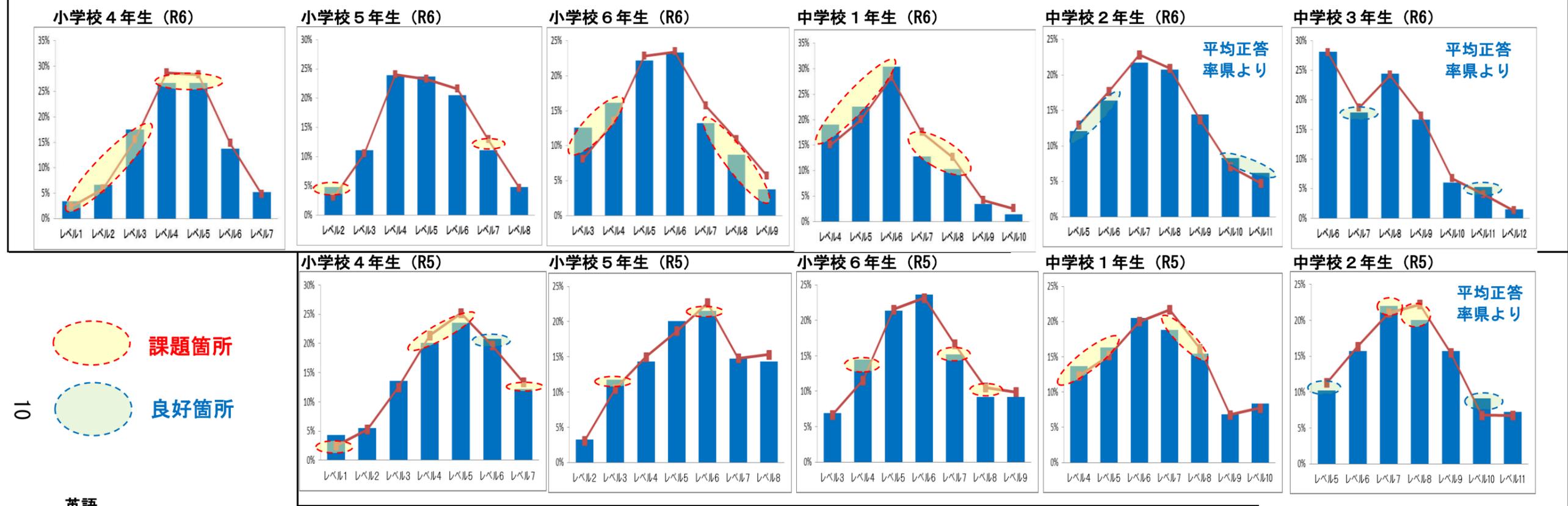


6

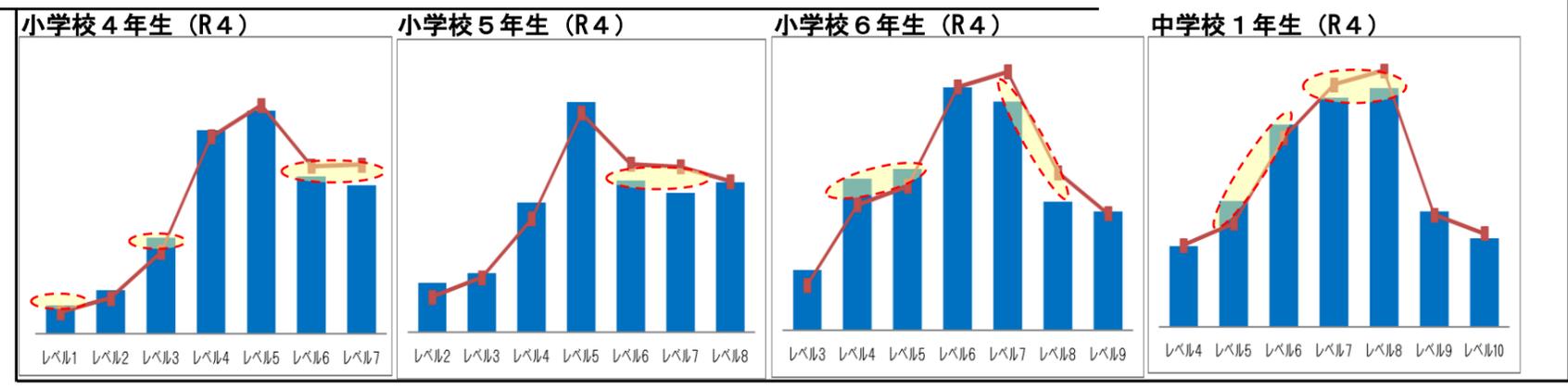
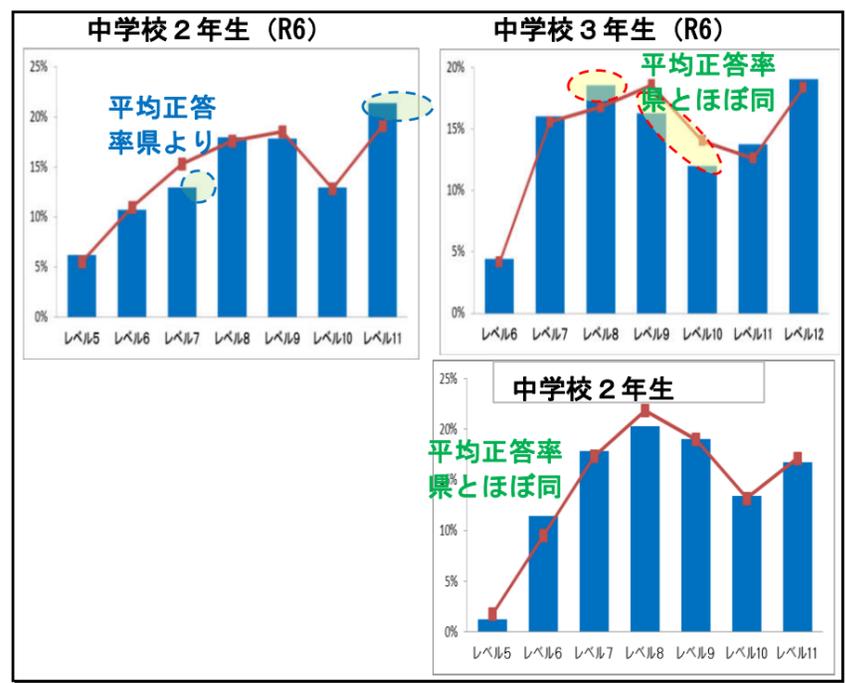
【グラフの見方】

- ・ 青い棒グラフ（■）は、貴実施主体における、各学力レベルに属する児童生徒の分布割合を表しています。
- ・ 赤い折れ線グラフ（■—■）は、県全体における、各学力レベルに属する児童生徒の分布割合を表しています。
- ※ 各レベルに属する児童・生徒の割合について、県全体の平均との比較ができるよう、参考として掲載しています。

算数・数学



英語



**【グラフの見方】**

- 青い棒グラフ (■) は、貴実施主体における、各学力レベルに属する児童生徒の分布割合を表しています。
- 赤い折れ線グラフ (■—■) は、県全体における、各学力レベルに属する児童生徒の分布割合を表しています。
- ※ 各レベルに属する児童・生徒の割合について、県全体の平均との比較ができるよう、参考として掲載しています。

令和6年度「規律ある態度」結果 (質問紙調査結果一覧)

資料7

				令和6年度						令和5年度					
				小4	小5	小6	中1	中2	中3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	① 登校時刻	県	93.5	94.2	94.3	98.0	96.6	95.9	92.0	93.1	93.9	97.7	96.5	95.8
			市	93.2	94.2	94.2	98.2	97.2	96.7	90.1	93.2	94.0	97.3	96.2	96.6
		② 授業開始時刻	県	87.1	91.5	93.4	96.0	96.7	97.1	90.7	91.9	94.4	96.7	97.3	97.4
			市	85.5	89.2	89.7	95.5	97.3	96.8	89.4	88.7	93.1	95.8	97.4	98.1
	2 身の回りの整理整頓をする	③ 靴そろえ	県	78.5	82.4	84.9	88.7	89.9	92.5	82.1	81.8	85.8	88.1	90.8	92.1
			市	78.8	82.0	82.8	88.1	90.8	94.3	80.9	78.6	82.0	87.2	92.1	93.4
		④ 整理整頓	県	73.8	76.8	76.0	75.2	78.0	80.2	79.3	76.4	77.1	76.5	77.5	80.4
			市	72.1	74.9	68.4	72.2	78.3	80.3	76.9	74.2	74.1	73.0	74.9	80.5
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をいさ	⑤ あいさつ	県	75.9	77.6	77.9	84.7	83.0	85.3	80.3	77.4	77.7	82.6	83.1	84.5
			市	70.4	74.4	74.4	81.9	80.6	87.0	77.4	76.7	75.1	84.2	87.0	85.4
		⑥ 返事	県	91.6	91.6	90.1	91.4	91.6	93.2	90.1	88.1	87.8	89.4	90.1	90.1
			市	90.4	89.1	87.2	87.2	91.1	94.1	85.4	84.6	82.7	89.1	89.8	87.0
	4 葉を付けていかにい言	⑦ ていねいな言葉づかい	県	83.2	88.8	88.2	90.2	91.2	93.4	85.8	86.6	88.8	90.9	92.7	92.5
			市	75.8	87.5	82.9	90.5	92.2	94.6	81.8	82.1	86.8	89.4	93.1	93.2
		⑧ やさしい言葉づかい	県	82.7	86.7	84.5	89.6	88.2	91.4	86.4	84.7	85.1	88.7	89.9	90.2
			市	77.9	85.8	79.9	89.5	88.9	90.0	85.5	82.2	83.7	89.6	91.6	90.9
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る	⑨ 学習準備	県	80.4	85.7	86.2	91.6	91.7	93.9	84.6	85.3	86.6	91.4	92.5	93.1
			市	76.2	83.3	81.4	92.3	92.4	92.9	82.8	82.6	84.9	91.6	93.4	93.2
		⑩ 話を聞き発表する	県	77.7	79.2	76.0	79.4	79.1	82.1	80.8	77.3	74.4	79.0	77.7	78.7
			市	72.7	75.6	71.0	79.2	77.7	83.2	77.1	71.7	72.9	79.5	78.4	76.4
	6 生活のきまりを守る	⑪ 集団の場での態度	県	88.3	88.5	86.7	93.6	94.7	96.3	86.8	84.7	85.7	93.1	94.4	95.2
			市	87.2	85.6	83.0	93.1	94.7	94.7	82.9	79.7	83.8	92.1	94.5	95.4
		⑫ 掃除・美化活動	県	89.5	89.6	87.9	88.0	87.5	89.1	91.8	89.2	87.9	87.4	86.8	87.2
			市	87.8	86.6	83.4	85.7	89.4	88.9	89.6	86.4	84.9	85.5	85.5	85.2

※ 表中の数字は、質問紙調査で児童が「できる」(「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合(達成率)

※ 青網掛けは80%以上、赤字は県を上回ったもの

## R6 県学調 児童生徒質問紙調査より抜粋

## 資料 8

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合 (%) ※ <span style="background-color: #00a0e3; color: white;">■</span> は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強する理由（勉強することが楽しい、好き）	県	31.4	24.9	19.9	15.6	11.4	11.3
	市	<b>35.6</b>	<b>26.4</b>	17.8	12.9	<b>11.7</b>	9.7
自分には、よいところがあると思いますか （思う、どちらかといえば思う）	県	82.5	76.8	78.8	78.2	77.3	75.1
	市	81.1	74.5	74.5	74.4	76.5	75.0
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している （している、どちらかといえばしている）	県	79.3	77.6	72.3	73.0	67.6	68.3
	市	71.9	72.5	63.6	68.5	66.8	67.0
今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか （もっている、どちらかといえばもっている）	県	73.5	71.1	61.1	56.9	45.8	42.4
	市	65.8	64.6	50.9	51.4	39.8	36.9
将来の夢や目標を持っていますか （もっている、どちらかといえばもっている）	県	91.2	82.5	80.4	79.8	69.3	66.9
	市	89.1	75.8	72.3	76.5	66.7	63.2
学級での生活は楽しかったですか（前学年） （楽しかった、どちらかといえば楽しかった）	県	94.8	92.5	91.6	92.4	93.6	92.1
	市	94.1	91.1	88.5	88.8	92.8	91.4
落ち着いて学習する様子でしたか（前学年） （そうだった、どちらかといえばそうだった）	県	77.8	75.3	70.1	71.3	67.8	76.3
	市	74.4	71.8	64.0	62.9	<b>69.0</b>	<b>78.2</b>
先生は自分のよいところを認めてくれた（前学年） （認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた）	県	84.8	88.7	90.4	92.1	93.3	93.0
	市	79.4	85.9	84.5	88.2	91.3	<b>94.2</b>
先生は相談にのってくれた（前学年） （のってくれた・どちらかといえばのってくれた）	県	82.8	85.9	87.4	89.3	91.4	91.0
	市	76.2	82.1	82.6	84.5	88.2	<b>92.9</b>
友達は自分のよいところを認めてくれた（前学年） （認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた）	県	92.0	92.9	93.7	94.9	95.3	95.2
	市	91.0	91.7	91.5	93.9	93.7	<b>96.0</b>
先生は授業やテストで分からなかったことなどを、分かるまで教えてくれた（前学年）（教えてくれた・どちらかといえば教えてくれた）	県	88.9	90.3	90.5	92.0	93.2	92.6
	市	79.4	84.7	85.2	86.2	91.2	91.9

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合（％） ※ <span style="background-color: #00aaff; color: white;">      </span> は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の前に学習の準備を整えることができる (できる・だいたいできる)	県	80.4	85.7	86.2	91.6	91.7	94.0
	市	76.2	83.2	81.4	<b>92.3</b>	<b>92.4</b>	92.9
授業で教わった基本的な内容を理解できる。 (できる・だいたいできる)	県	78.8	81.7	83.3	81.5	74.9	76.0
	市	75.3	78.9	76.7	78.1	72.4	72.7
土曜日や日曜日に、1日どのくらい勉強をしますか（2時間以上）	県	24.6	24.2	23.6	32.3	34.0	45.2
	市	<b>25.8</b>	21.8	19.1	26.6	28.6	43.0
土曜日や日曜日に、1日どのくらい勉強をしますか（1時間以下）	県	43.1	40.4	39.4	30.8	33.7	27.8
	市	42.2	44.1	44.0	36.7	36.7	29.3
塾（家庭教師も含む）で1週間どのくらい勉強をしますか (8時間以上)	県	15.9	14.5	13.0	13.1	15.1	24.2
	市	<b>19.3</b>	13.8	10.7	10.8	<b>15.9</b>	<b>30.7</b>
1か月に何冊くらい本を読みますか（3冊以上）	県	49.3	47.6	46.1	35.1	28.2	23.7
	市	45.2	46.7	44.5	33.9	<b>29.1</b>	21.6
テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時の家族との約束は決めていますか（両方決めている）	県	31.7	32.1	34.7	37.8	34.7	34.0
	市	<b>34.1</b>	31.4	<b>34.9</b>	<b>39.1</b>	<b>37.7</b>	32.9
家でタブレットやパソコンなどでインターネットをどのくらい利用していますか（3時間以上）	県	16.0	19.6	19.5	21.5	24.9	21.1
	市	14.1	18.6	19.5	<b>21.6</b>	22.3	20.0
国語の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1～2回程度以上)	県	56.0	58.4	66.4	58.7	41.1	39.7
	市	<b>56.7</b>	51.1	61.3	51.4	23.1	12.5
算数・数学の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1～2回程度以上)	県	37.6	40.1	47.5	44.2	29.1	25.7
	市	<b>41.6</b>	35.3	37.8	39.2	<b>43.2</b>	1.4

## R5 県学調 児童生徒質問紙調査より抜粋

## 資料9

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合(%) ※ <span style="background-color: #ccccff;">    </span> は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強する理由(勉強することが楽しい、好き)	県	27.3	20.0	17.3	14.8	10.4	9.8
	市	25.9	18.7	12.1	13.8	9.3	9.4
自分には、よいところがあると思いますか (思う、どちらかといえば思う)	県	79.9	79.1	76.9	76.2	72.0	74.8
	市	79.2	77.8	74.9	75.9	<b>72.1</b>	69.9
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (している、どちらかといえばしている)	県	82.6	75.5	74.3	72.8	68.2	66.6
	市	80.8	73.3	69.0	71.1	<b>68.7</b>	62.7
今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか (もっている、どちらかといえばもっている)	県	76.2	69.0	64.9	56.9	47.4	39.4
	市	71.9	63.7	61.7	54.4	41.4	30.2
将来の夢や目標を持っていますか (もっている、どちらかといえばもっている)	県	86.8	86.5	81.9	80.2	70.4	68.1
	市	<b>88.0</b>	<b>87.5</b>	81.3	79.5	<b>73.0</b>	<b>69.2</b>
学級での生活は楽しかったですか(前学年) (楽しかった、どちらかといえば楽しかった)	県	93.6	91.2	90.0	91.0	91.4	90.4
	市	91.3	89.1	87.3	<b>91.9</b>	<b>92.8</b>	87.5
落ち着いて学習する様子でしたか(前学年) (そうだった、どちらかといえばそうだった)	県	82.6	76.0	73.1	71.5	71.7	77.7
	市	<b>83.4</b>	75.8	68.5	<b>75.0</b>	<b>74.6</b>	<b>78.6</b>
先生は自分のよいところを認めてくれた(前学年) (認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた)	県	90.4	91.7	92.0	93.3	93.6	93.3
	市	<b>91.6</b>	<b>93.4</b>	90.5	91.8	<b>95.3</b>	<b>95.4</b>
先生は相談にのってくれた(前学年) (のってくれた・どちらかといえばのってくれた)	県	88.5	89.2	88.5	90.2	91.9	91.3
	市	87.6	88.8	85.8	88.2	<b>93.3</b>	<b>91.4</b>
友達は自分のよいところを認めてくれた(前学年) (認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた)	県	90.6	92.3	92.6	94.3	94.1	94.3
	市	89.6	91.1	90.2	93.5	93.3	93.7
先生は授業やテストで分からなかったことなどを、分かるまで教えてくれた(前学年) (教えてくれた・どちらかといえば教えてくれた)	県	91.3	91.9	91.2	92.5	92.5	91.9
	市	88.1	89.1	87.4	91.9	91.2	90.2

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合（％） ※ <span style="background-color: #ccccff;">      </span> は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の前に学習の準備を整えることができる (できる・だいたいできる)	県	84.6	85.2	94.3	91.5	92.5	93.0
	市	82.8	82.6	93.1	<b>91.7</b>	<b>93.3</b>	<b>93.2</b>
授業で教わった基本的な内容を理解できる。 (できる・だいたいできる)	県	78.6	80.8	81.3	81.2	74.0	74.6
	市	74.4	76.2	79.1	77.8	70.3	<b>74.8</b>
土曜日や日曜日に、1日どのくらい勉強をしますか（2時間以上）	県	24.7	24.9	23.6	35.1	37.7	47.6
	市	22.1	21.2	22.2	26.3	34.1	<b>48.7</b>
土曜日や日曜日に、1日どのくらい勉強をしますか（1時間以下）	県	42.1	39.0	40.9	27.7	30.4	26.0
	市	54.4	41.1	45.7	32.5	33.2	27.4
塾（家庭教師も含む）で1週間どのくらい勉強をしますか (8時間以上)	県	16.5	14.8	12.6	13.9	15.4	25.0
	市	<b>18.2</b>	13.2	<b>13.2</b>	11.7	<b>17.6</b>	<b>30.0</b>
1か月に何冊くらい本を読みますか（3冊以上）	県	54.9	55.9	48.7	38.8	30.4	25.1
	市	50.4	55.3	46.5	37.7	27.2	23.4
テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時の家族との約束は決めていますか（両方決めている）	県	34.4	34.7	35.4	41.4	38.0	32.2
	市	<b>35.3</b>	<b>35.8</b>	<b>40.1</b>	<b>43.6</b>	<b>40.8</b>	<b>36.5</b>
家でタブレットやパソコンなどでインターネットをどのくらい利用していますか（3時間以上）	県	18.2	21.7	24.6	26.2	28.6	24.2
	市	<b>20.9</b>	<b>22.9</b>	<b>29.3</b>	33.7	<b>32.5</b>	<b>26.5</b>
国語の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1～2回程度以上)	県	55.6	58.7	56.6	63.2	34.9	35.1
	市	52.9	54.6	50.3	56.2	14.3	12.9
算数・数学の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1～2回程度以上)	県	38.3	37.9	39.5	45.6	21.6	21.3
	市	38.3	33.7	32.7	45.4	12.4	21.2

## 令和6年度第12期子ども大学☆ふじみ事業実施報告

- 1 実施期間 【通常講義】令和6年6月8日（土）～9月14日（土）の7日間  
 【オプション講義】令和6年7月13日（土）
- 2 会場 淑徳大学、びん沼自然公園、富士見市役所、南畑小学校、富士見市立市民総合体育館、ピアザ☆ふじみ、難波田城資料館
- 3 対象 富士見市内在住・在学の小学校4年生から6年生
- 4 入学者 46人

学年	男	女	合計
4年生	5	9	14
5年生	7	6	13
6年生	7	12	19
合計	19	27	46

5 主催 子ども大学ふじみ実行委員会

### 6 講義日程

#### 【通常講義】

日時	実施場所	内容・講師	出席
6.8（土） 13:00～16:00	淑徳大学 （三芳町）	○入学式 ○ようこそ☆子ども大学へ ～みんなで淑徳大学を探検しよう！～ 淑徳大学教育学部 学生のみなさん	45人
6.15（土） 14:00～16:00	びん沼 自然公園	○出発☆びん沼いきもの発見隊 ～富士見市の自然を観察しよう！～ 立教大学スポーツウエルネス学部 准教授 奇二 正彦 先生	42人
6.29（土） 14:00～15:30	富士見 市役所	○心理学ってなんだ?? ～心の不思議を体験しよう！～ 跡見学園女子大学心理学部 教授 小栗 貴弘 先生	44人
7.26（金） 10:00～13:00	南畑小学校	○知る・学ぶ・備える☆防災のススメ ～パッククッキングでお米を炊いてみよう！～ 富士見市役所危機管理課のみなさん 五ツ星お米マイスター・米・食味鑑定士 田坂 佳宏 先生（お米の田米衛店主）	41人

8.6 (火) 14:00~16:00	市民総合 体育館	○すすめ☆ことば探検隊 ~辞書カルタでことばの意味を考えよう!~ 国立国語研究所 本多 由美子 先生	41 人
8.21 (水) 13:00~15:00	ピアザ☆ ふじみ	○やってみよう☆子ども薬剤師 ~薬剤師のお仕事に挑戦してみよう!~ 日本薬科大学薬学部臨床薬学部門のみなさん	40 人
9.14 (土) 13:00~16:00	淑徳大学 (三芳町)	○地元企業に学ぶ☆ASTRA FOOD PLAN(株)編 ~かくれフードロス問題を学ぼう!~ ASTRA FOOD PLAN 株式会社 代表取締役 加納 千裕 先生  ○修了式	43 人

### 【オプション講義】

7.13 (土) 14:00~16:00	難波田城 資料館 (※)	○ふじみを楽しむ☆水子貝塚資料館編 ~染物体験に挑戦してみよう!~ 水子貝塚資料館のみなさん	25 人
-------------------------	--------------------	--	------

※水子貝塚資料館を予定していたが、豪雨の影響で臨時休館したことに伴い会場を変更

## 7 講義の様子と感想

### 【1日目：入学式、ようこそ☆子ども大学へ】



- ・今日楽しかったことはスタンプラリーです。理由は、みんなでいろんなところをまわって、仲良くなれたし、大学のことも知れたからです。次回はみんなの名前

を覚えます。

- ・ 1回目だったけど、班の子としゃべれるようになって嬉しいです。これからもっと仲良くなって楽しみながら学びたいです。

#### 【2日目：出発☆びん沼いきもの発見隊】



- ・ いろんな生き物に触れられて嬉しかったです。特に、臭いにおいをつくるのが楽しかったです。
- ・ 班の人たちと協力してミッションをクリアしていくことがとても楽しかったです。

#### 【3日目：心理学ってなんだ??】



- ・ 心理学について何も知らなかったけど、たくさんの実験結果などを知れて楽しかったです。
- ・ 脳が分かりやすく見ているものを変換してくれていて驚きました。

#### 【4日目：知る・学ぶ・備える☆防災のススメ】



- ・ お米にいろいろな種類があることは知っていたけど、歴史までは知らなかったのが楽しかったです。

- ・帰ってから親と一緒に防災バッグを作ろうと思いました。

#### 【5日目：すすめ☆ことば探検隊】



- ・国語辞典に関しては無関心だったけど、この講義をやっておもしろいなと思いました。
- ・みんなと一緒にカルタを作ったり、一緒に学べたことが楽しかったです。

#### 【6日目：やってみよう☆子ども薬剤師】



- ・薬剤師に興味を持っていたのでたくさんのことを学べて楽しかったです。あと、薬を分けるのが楽しかったし心に残りました。
- ・普段使うことのできない薬包紙を使って、薬を分包したのが楽しかったです。

#### 【7日目：地元企業に学ぶ☆ASTRA FOOD PLAN(株)編、修了式】





- ・ かくれフードロスを知って「捨てるのはもったいないな、でもどうすればいいのかな」と思いました。捨てるものを乾燥させて新しい食材にするのがすごかったです。
- ・ かくれフードロスという新しいことばについてよく知れました。自分も身の周りの食品を大切にしていきたいです。

### 【オプション講義：ふじみを楽しむ☆水子貝塚資料館編】



- ・ アカネ色の草木染め以外にもいろいろな染物をやってみたいです。
- ・ 難波田城資料館はあまり行ったことがなかったので、いろいろな歴史を知れて楽しかったです。

## 令和6年度富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の報告について

- 1 実施日 令和6年7月22日（月）
- 2 会場 各中学校区の中学校
  - ・富士見台中（富士見台中、鶴瀬小、つるせ台小の児童生徒）
  - ・本郷中（本郷中、水谷中、水谷小、水谷東小、みずほ台小の児童生徒）
  - ・東 中（東中、南畑小、諏訪小の児童生徒）
  - ・西 中（西中、関沢小、針ヶ谷小の児童生徒）
  - ・勝瀬中（勝瀬中、勝瀬小、ふじみ野小の児童生徒）
- 3 参加者
  - ・来賓：市長、教育長、市議会議員、教育委員、いじめのない学校づくり委員
  - ・市役所関係者：子ども未来部長、子育て支援課長
  - ・学校関係者：学校長、担当教諭、実行委員（児童・生徒）

### 4 内 容

市内小中学校の代表が中学校区で集まり、各会場をオンラインで結んで、いじめのない学校づくりについて話し合った。



【本郷中会場での集合写真】

#### 《会議内容》

(1) 開会セレモニー

(2) 児童生徒による協議

テーマ「子ども宣言を振り返り、いじめのない学校づくりに向けて」

話し合い① いじめで悩んでいる人を見かけた時に、どうしているか考えよう。

話し合い② いじめで悩んでいる人を守るために、できることを考えよう。

話し合い③ 中学校区で共通して取り組みたいものを決めよう。

(3) 話し合いで決まったことの報告（中学校ごと）

(4) 閉会セレモニー

### 5 今後の取組

「いじめについて考える機会を設ける」、「ポスター等の掲示物をつくって、いじめをなくすよう呼びかける」など、子ども会議で決まった『いじめをなくすための取組』について、各学校で実践する。また、実践による成果について、来年度の会議で報告する。



【中学校区ごとの話し合いの様子】

## 令和6年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について

### 1 イングリッシュサマーキャンプ

#### (1) 概要

対 象：市内在住かつ在学の小学3・5年生

会 場：ふじみ野交流センター、鶴瀬西交流センター

開 催 日：3年生（7月25・26日、8月1・2日）、5年生（7月30・31日）

開催方法：午前コース（9:30～12:00）と午後コース（13:30～16:00）  
に分け2日間にわたり開催

内 容：AETを講師として、英語のみでの会話やゲーム、クイズや工作など

参加費：3年生（200円）、5年生（500円）

#### (2) 参加状況

	応募人数	当選人数	参加人数
3年生	89名	80名	76名
5年生	62名	40名	38名

#### (3) 主な成果と課題

3年生も5年生も募集人員を上回る申込みがあり、当選倍率は、3年生は約1.1倍、5年生は約1.6倍であった。児童は、ゲームやクラフト等を通じて、8名のAETとともに楽しみながら英語を活用することができ、英語への意欲向上に繋がった。より多くの語彙に触れ、英語力が高まるよう内容を充実させていくことが課題である。

#### (4) 活動の様子



### 2 英語検定補助金について

#### (1) 概要

対象：市内在住又は在学の小学6年生（5級以上）、中学1年生（4級以上）

中学2・3年生（3級以上） ※令和5年度より対象拡大

内容：児童生徒1人につき、受検費用1,000円補助（同一年度内に1回まで）

- (2) 申請実績（令和4年度～令和6年度） ※令和6年度は、令和6年8月31日現在
- |       |       |     |   |       |                 |
|-------|-------|-----|---|-------|-----------------|
| 令和6年度 | 小学6年生 | 13名 | 、 | 中学1年生 | 14名             |
|       |       |     |   | 中学2年生 | 13名（内、1名は私学在籍者） |
|       |       |     |   | 中学3年生 | 29名             |
| 令和5年度 | 小学6年生 | 47名 | 、 | 中学1年生 | 54名（内、3名は私学在籍者） |
|       |       |     |   | 中学2年生 | 56名（内、2名は私学在籍者） |
|       |       |     |   | 中学3年生 | 72名（内、6名は私学在籍者） |
| 令和4年度 | 小学6年生 | 90名 | 、 | 中学3年生 | 86名（内、7名は私学在籍者） |

(3) 主な成果と課題

中学2・3年生にも対象を拡大したことで、申請実績が増加したことが成果であるが、小学生・中学生ともに、さらに申請実績を伸ばし児童生徒、保護者の英語検定への意欲を高めていくことが課題である。周知方法を工夫するとともに、補助金額や補助回数についても検討していくことが重要である。

# 報告事項（８）資料

## 第2回小学生ロボコン・富士見市大会について

### 1 概要

目的：市内の小学生が身近に参加できる小学生ロボコン・富士見市大会を開催し、小学校で実践しているSTEM教育で身に付けた課題解決力や論理的思考力、創造性などを活用する機会を提供することで、さらなる学習意欲の向上や課題解決力等の育成を目的とする。

対象：市内在住の小学生

開催方法：小学生ロボコン2024全国共通予選会のルールに則り、競技を行い、得点を競う。1位の児童は、小学生ロボコン全国大会出場の権利が得られる。

表彰：得点によって決まる1～3位、ロボットのアイデア等によって決まる市長賞、教育長賞、デザイン賞、機構賞。

開催日：令和6年8月31日（土）10時～13時

会場：富士見市立総合体育館 2階 サブアリーナ

参加費：1,000円

### 2 参加状況

		令和5年度	令和6年度
申込 人数	合計	(市内10校) 42名	(市内8校) 51名
	1年	3名	8名
	2年	9名	(R5参加者 0名) 4名
	3年	9名	(R5参加者 2名含) 10名
	4年	14名	(R5参加者 1名含) 7名
	5年	6名	(R5参加者 6名含) 12名
	6年	1名	(R5参加者 4名含) 10名
参加人数		27名	(R5参加者13名含) 34名

### 3 主な成果と課題

#### 〈成果〉

- ・申込人数、参加人数ともに昨年度より増加した。
- ・参加者の21名が、小学生ロボコン初出場であったが、それぞれのアイデアを生かしたロボットを作り、競技を楽しむことができた。
- ・参加者の13名の児童は、昨年度に引き続きの参加となり、大会参加への意欲の高まりが感じられた。
- ・参加者が、思考を凝らしたアイデア、デザインのロボットを作ることができた。
- ・7つのフィールドを用意し、1名10分の持ち時間の中で競技を行い、競技開始後は時間通りに進行することができた。
- ・参加者の児童が、お互いのロボットを見合ったり、質問し合ったりするなど交流することができた。
- ・ロボットが故障してしまった子に、修理道具を貸す参加者がいるなど、参加者同士が助け合う様子が見られた。

#### 〈課題〉

- ・ロボットの作り方が分からず、大会へ参加できなかったご家庭があったので、ロボットの作り方の説明をどのように行うかが課題である。

- ・限られた人材と時間の中で、大学との調整やフィールド作り、ルールの設定と周知をいかに進めるかが課題である。
- ・応募多数の場合、現在の状況では円滑な運営をすることに課題がある。
- ・当日のスタッフとして、学校教育課の職員、埼玉大学の学生が参加したが、スタッフの人員確保が課題である。

#### 4 活動の様子



【ロボットの最終チェック】



【フィールドでの競技】



【閉会式後の集合写真】

## 報告事項（9）資料

その他

- ・ 富士見市児童生徒社会科展について